第１編　総　論

第１編　総　論

序　章　計画の策定に当たって

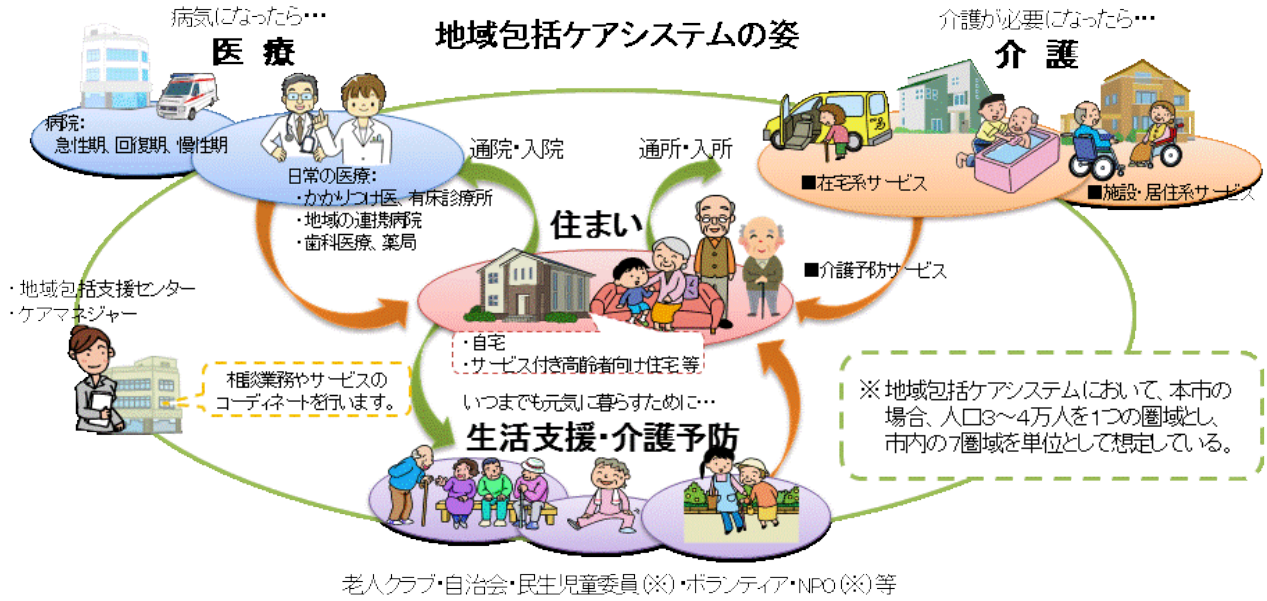
１　計画見直しの趣旨

わが国では、人口減少社会に突入する一方で高齢化が進展し、本市においても高齢者人口及び高齢化率が伸び続けている。国立社会保障・人口問題研究所が平成 24 年（2012 年）1 月に発表した「日本の将来推計人口（出生中位・死亡中位推計結果）」によると、高齢者数は、団塊の世代（※）が高齢期を迎える平成 27 年（2015 年）には 3,395 万人（高齢化率 26.8%）、さらに、団塊の世代が後期高齢者（※）（75 歳以上）となる平成 37 年（2025 年）には 3,657 万人（高齢化率 30.3%）に達すると見込まれている。都市部を中心に後期高齢者数が急増するとともに、高齢者の単身世帯、高齢者の夫婦のみ世帯が増加するなど、地域社会・家族関係が大きく変容する中で、介護保険制度がめざす「高齢者の尊厳の維持」や「自立支援」をいかに実現していくかが大きな課題となっている。

介護保険制度は、平成 12 年（2000 年）の施行から約 15 年が経過した。この間、高齢者が住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、自立した日常生活の支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム（※）」の構築をめざし、順次改正が行われてきた。

最近の介護保険制度の改正として、平成 26 年（2014 年）6 月 25 日に、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築とともに、「地域包括ケアシステム」の構築を通じた、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が公布・施行されたところである。

図表序-1　地域包括ケアシステムのイメージ



（資料）厚生労働省資料に一部加筆

本市では、「できる限り住み慣れた地域社会の中で、本人の生活能力に合わせた自立生活が送れる」よう高齢者を支える地域ネットワークづくりをはじめ、高齢者の地域生活を支援する多様な施策を展開してきた。

このような状況を踏まえ、本計画は、これまで本市が進めてきた介護保険制度や高齢者福祉の施策を継続的に取り組むとともに、本市の地域課題・地域資源・高齢化の進展などの実情を踏まえ、「高齢者が住み慣れた地域の中で、健康で、安心して自分らしくいきいきと暮らし続けられる」生活支援体制の構築に向けて、さらなる施策の推進を図ることを目的とする。

２　平成 26 年度（2014 年度）制度改正の概要

平成 26 年（2014 年）6 月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（「医療介護総合推進法」）は、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じて、地域における総合的な医療・介護サービスの提供体制の実現をめざし、介護保険法のほか、医療法など関連法律の改正を一本化した法律である。

「医療介護総合推進法」に基づく介護保険制度改正の主な内容は、下図のとおりであり、「地域包括ケアシステムの構築（サービスの充実、重点化・効率化）」と「費用負担の公平化（低所得者の保険料軽減の拡充、重点化・効率化）」が大きな柱となっている。

図表序-2 介護保険制度の改正（平成 26 年度）の主な内容

地域包括ケアシステムの構築	費用負担の公平化
高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、介護、医療、生活支援、介護予防（※）を充実。	低所得者の保険料軽減を拡充。また、保険料の上昇をできる限り抑えるため、所得や資産のある人の利用者負担を見直す。
サービスの充実 ○地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の充実 ①在宅医療・介護連携の推進 ②認知症（※）施策の推進 ③地域ケア会議の推進 ④生活支援サービスの充実・強化 **重点化・効率化** ①全国一律の予防給付（※）（訪問介護・通所介護）を市町村が取り組む地域支援事業に移行し、多様化 ②特別養護老人ホームの新規入所者を、原則、要介護３以上に限定（既入所者は除く）	**低所得者の保険料軽減を拡大** ○低所得者の保険料の軽減割合を拡大 給付費の５割の公費に加えて別枠で公費を投入し、低所得者の保険料の軽減割合を拡大 **重点化・効率化** ①一定以上の所得のある利用者の自己負担を引上げ ②低所得の施設利用者の食費・居住費を補填する「補足給付」の要件に資産などを追加

※　このほか、「2025 年を見据えた介護保険事業計画の策定」、「サービス付高齢者向け住宅への住所地特例の適用」、「居宅介護支援事業所の指定権限の市町村への移譲・小規模通所介護の地域密着型サービスへの移行」等を実施。

資料：厚生労働省資料より作成

３　計画の位置づけと期間

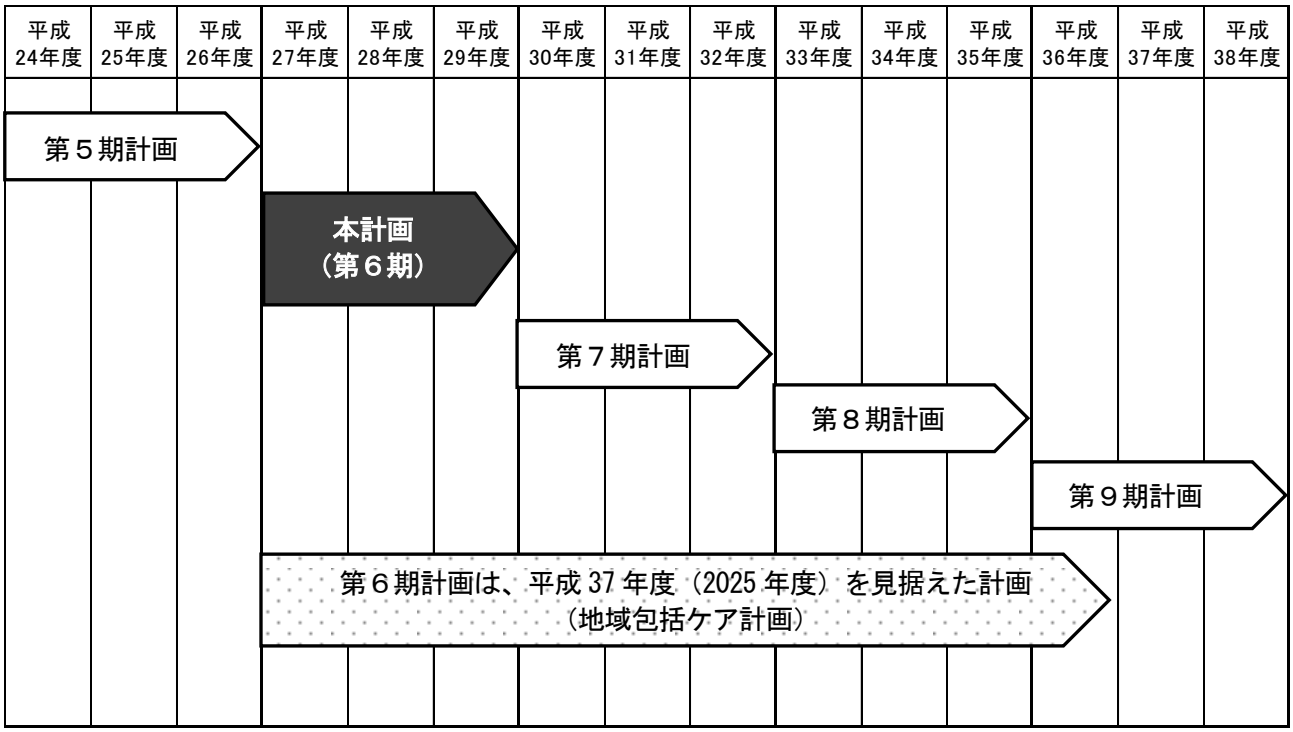
本計画は、老人福祉法（昭和 38 年（1963 年）法律第 133 号）第 20 条の 8 に規定する「老人福祉計画」及び介護保険法（平成 9 年（1997 年）法律第 123 号）第 117 条に規定する「介護保険事業計画」により構成している。

本市では、高齢者が、元気で自立しているときも、介護を必要とする状態になってからも、その持てる力を活かしながら、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、「宝塚市高齢者福祉計画・第 5 期介護保険事業計画（ゴールドプラン 21 宝塚)」（計画期間：平成 24 年度～26 年度（2012 年度～2014 年度））に基づく施策を実施してきた。

平成 26 年度（2014 年度）は、本計画の見直しの時期にあたり、本市の高齢者に関する施策を総合的・計画的に推進するとともに、介護保険事業の円滑な実施を図るために平成 27 年度（2015 年度）から平成 29 年度（2017 年度）までの「宝塚市高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画（ゴールドプラン 21 宝塚)」を策定するものである。

なお、今回策定する計画は、団塊の世代が 75 歳以上となる平成 37 年度（2025 年度）までの間に、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを構築することを長期目標とするもので、第 6 期以降の介護保険事業計画を「地域包括ケア計画」として位置づけ、平成 37 年度（2025 年度）までの各計画期間を通じて、段階的に地域包括ケアシステムの構築をめざすこととする。

図表序-3 計画の期間と位置づけ



４　計画の策定体制

(1) 計画策定体制

本計画の策定にあたっては、幅広く意見を求めるため、学識経験者、保健・医療・福祉関係者、市民代表者（被保険者（※）代表）等で構成される「宝塚市介護保険運営協議会（※)」及び「宝塚市介護保険運営協議会専門委員会」を設置し、検討・協議を行った。

(2) 実態調査の実施

計画策定の基礎となる高齢者等の生活の様子やニーズ（※）を把握するため、下記の３種類のアンケート調査を実施した。

図表序-4 アンケート調査の概要

調 査 名	概　　要	有効回答率
ア．在宅要援護者需要調査	平成 26 年 1 月の介護サービス利用者(施設・居住系サービス利用者を除く)から、620 人を無作為に抽出。郵送により調査票を配布・回収。	59.5%
イ．一般高齢者調査	平成 26 年 2 月 1 日現在、65 歳以上の人(要介護認定者を除く)から 1,240 人を調査対象として無作為に抽出。郵送により調査票を配布・回収。	64.1%
ウ．日常生活圏域（※）ニーズ調査	平成 26 年 2 月 1 日現在、65 歳以上の要介護 3～5 の人を除く人から、宝塚市内の日常生活圏域(7 圏域)毎に計 4,283 人を調査対象として無作為に抽出。郵送により調査票を配布・回収。	71.4%

※　表内の調査の発送日は平成 26 年（2014 年）6 月 6 日、回収締切日は同年 6 月 30 日である。

(3) パブリックコメント（※）

本計画について広く市民の意見を聴取するため、平成 26 年（2014 年）12 月 15 日（月）から平成 27 年（2015 年）1 月 14 日（水）まで、計画（素案）について市役所や健康センター、各サービスセンター・各サービスステーションで配布・閲覧できるようにするほか、市ホームページへ掲載し、意見等を募集した。

第１章　高齢者等の現状と将来推計

１　宝塚市の人口等の現状と推計

(1) 総人口の推移

本市の人口は、平成 26 年（2014 年）9 月末現在、総人口が 234,011 人、65 歳以上人口が 58,748 人、75 歳以上人口が 26,987 人である。これまで増加傾向で推移してきたが、平成 25 年（2013 年）から平成 26 年（2014 年）にかけては横ばいで推移している。

平成 22 年（2010 年）と平成 26 年（2014 年）を比較すると、総人口は 1.0%増であるが、65 歳以上人口は 16.7%増、75 歳以上人口は 19.1%増となっている。

図表 1-1 宝塚市の人口の推移　（単位：人）

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
総　　数	231,763	232,903	234,019	234,090	234,011
男	108,668	109,112	109,459	109,434	109,359
女	123,095	123,791	124,560	124,656	124,652
40 歳以上 65 歳未満	80,053 (34.5%)	81,697 (35.1%)	81,886 (35.0%)	81,809 (34.9%)	81,567 (34.9%)
65 歳以上	50,360 (21.7%)	51,500 (22.1%)	53,951 (23.1%)	56,350 (24.1%)	58,748 (25.1%)
男	21,524	21,968	22,964	24,039	25,101
女	28,836	29,532	30,987	32,311	33,647
うち 75 歳以上	22,654 (9.8%)	23,888 (10.3%)	25,054 (10.7%)	26,097 (11.1%)	26,987 (11.5%)

資料：住民基本台帳（各年 9 月末）

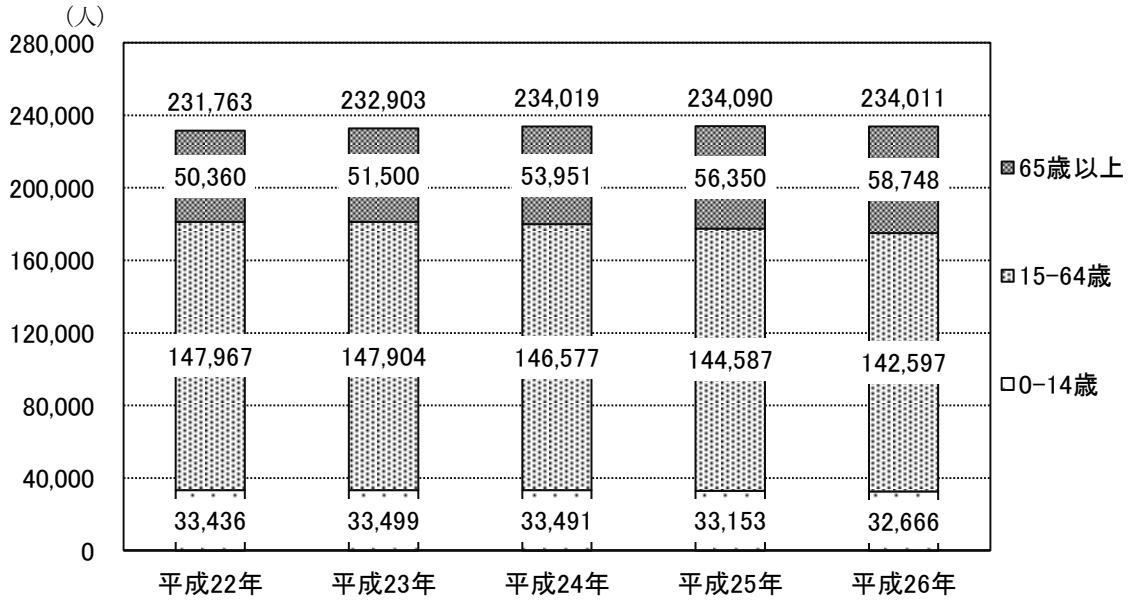
※　宝塚市の人口統計の時点についての注意事項

・本計画掲載の本市人口統計の資料及び集計時点については、以下のとおりとしている。
　平成 25 年度まで：住民基本台帳及び外国人登録人口　各月 1 日時点
　平成 26 年度以降：住民基本台帳　各月末日時点（平成 26 年度以降は、法改正により外国人も住民基本台帳に登録されている。）
・したがって、平成 25 年度以前の人口の集計日が「各月末」と示されている場合は、「翌日（翌月 1 日）」と読み替えるものとする。

(2) 年齢３区分別人口

本市の 0～14 歳の年少人口は、平成 22 年（2010 年）から平成 26 年（2014 年）にかけて 770 人減少し、15～64 歳の生産年齢人口は同期間に 5,370 人減少しているが、65 歳以上の高齢者人口は、同期間に 8,388 人増加している。

図表 1-2 宝塚市の年齢3区分別人口

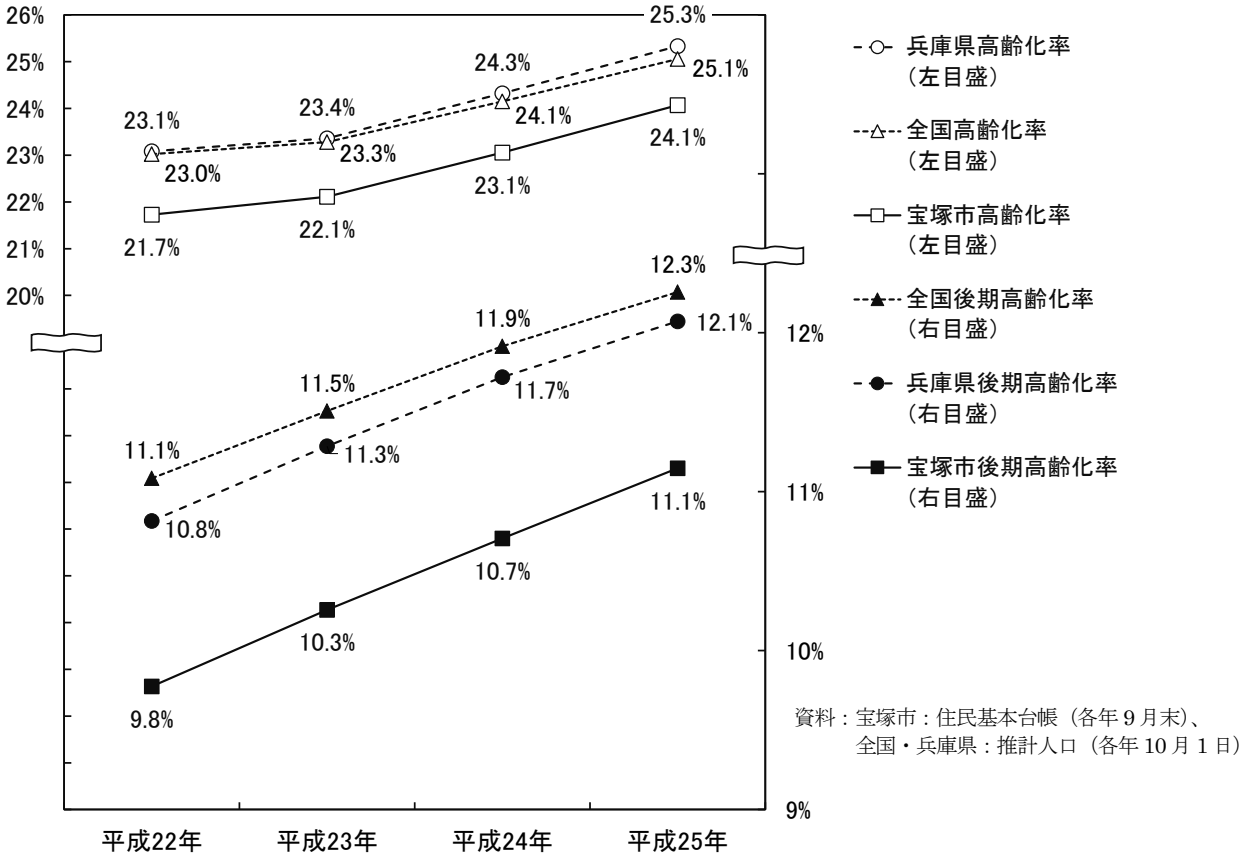


資料：住民基本台帳等（各年 9 月末）

(3) 高齢化率の推移

本市の高齢化率（65 歳以上高齢者人口が総人口に占める割合）及び後期高齢化率（75 歳以上高齢者人口が総人口に占める割合）は、全国や兵庫県を下回る水準で推移している。ただし、平成 22 年から 25 年にかけて、高齢化率は、全国が 2.0 ポイント増に対し、宝塚市は 2.3 ポイント増、後期高齢化率は、全国が 1.2 ポイント増に対し、宝塚市は 1.4 ポイント増と、高齢化が全国平均を上回るスピードで進行している（高齢者人口の将来推計は、12 ページ以降を参照。）。

図表 1-3 高齢化率・後期高齢化率の推移（宝塚市・兵庫県・全国）



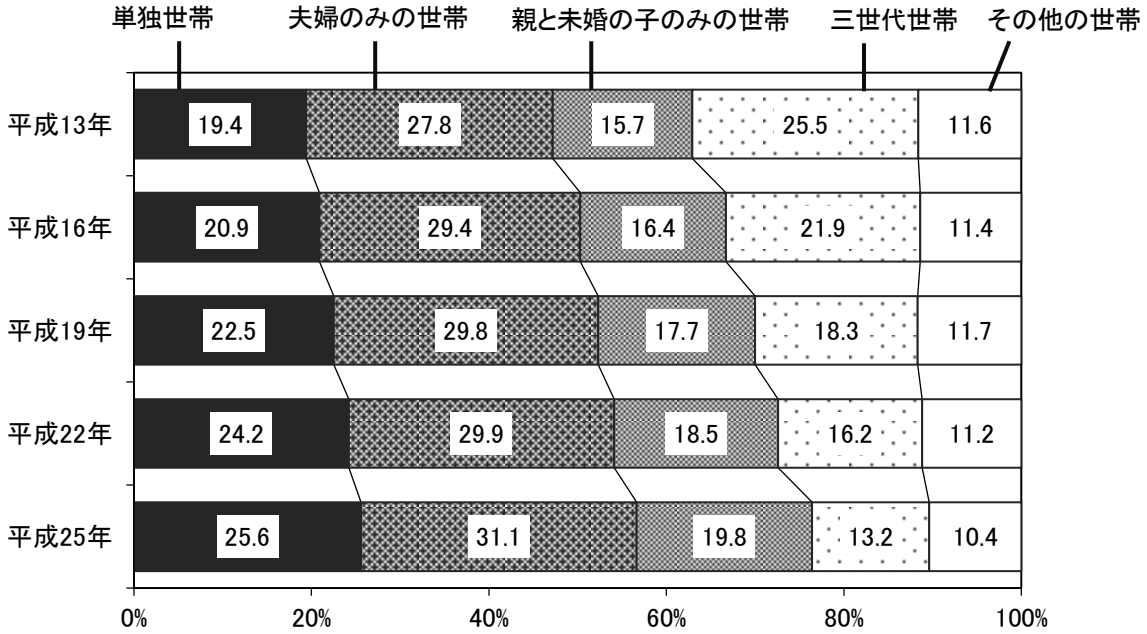
資料：宝塚市：住民基本台帳（各年 9 月末）、
全国・兵庫県：推計人口（各年 10 月 1 日）

２　高齢者世帯と家族介護の状況

（1）高齢者がいる世帯の家族構成

わが国の高齢者がいる世帯の家族構成については、国民生活基礎調査（平成 25 年（2013 年））によると、単独世帯が 25.6%、夫婦のみの世帯が 31.1%であり、いずれの家族構成も年々その割合が増加している。

図表 1-4 世帯構造別にみた 65 歳以上の者のいる世帯数及び構成割合の年次推移（全国）

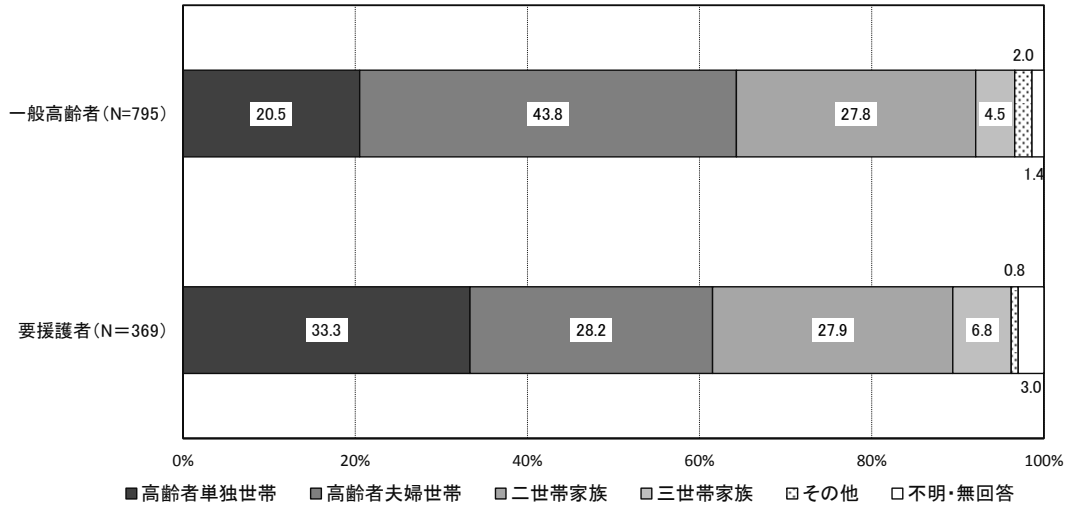


※　「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成 25 年）

本市の状況については、平成 26 年（2014 年）に実施した調査によると、一般高齢者は、高齢者単独世帯が 20.5%、高齢者夫婦世帯が 43.8%である。要援護者（寝たきりや認知症・虚弱のため、日常生活を営む上で何らかの介護や支援を必要とする高齢者）については、高齢者単独世帯が 33.3%と一人暮らしの比率が一般高齢者と比べて高くなっている。

図表 1-5 一般高齢者および要援護者の家族構成（宝塚市）



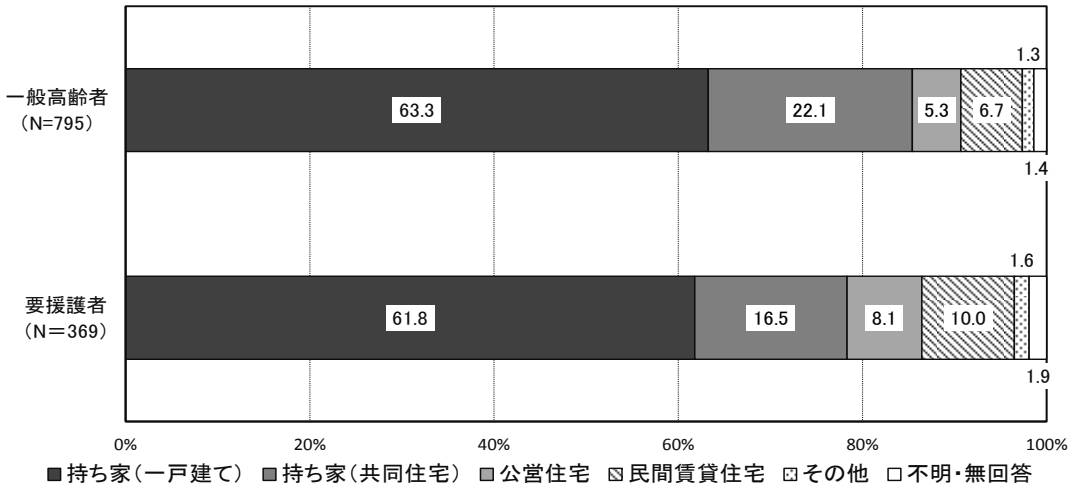
資料：宝塚市「一般高齢者調査」「在宅要援護者需要調査」（平成 26 年 6 月実施）

(2) 高齢者の住まい

高齢者の住まいについては、宝塚市「一般高齢者調査」（平成 26 年（2014 年）6 月実施）によると、「持ち家（一戸建て）」が 63.3%と最も多く、次いで、「持ち家（共同住宅）」が 22.1%となっており、８割以上が持ち家となっている。

また、要援護者の住まいについても、「持ち家（一戸建て）」が 61.8%と最も多く、次いで、「持ち家（共同住宅）」が 16.5%となっており、８割近くが持ち家となっている。

図表 1-6 一般高齢者および要援護者の住まい（宝塚市）

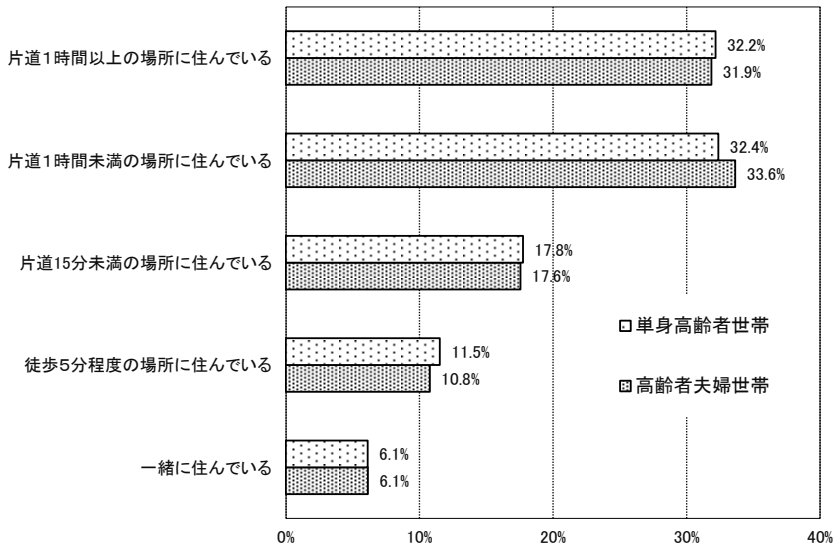


資料：宝塚市「一般高齢者調査」「在宅要援護者需要調査」（平成 26 年 6 月実施）

(3) 子どもの住まいとの距離

わが国の子どもの住まいとの距離については、総務省統計局「平成 25 年（2013 年）住宅・土地統計調査報告 速報集計」によると、別世帯の子どもが片道 15 分以内の場所に住んでいる（一緒に住んでいる、徒歩５分程度、片道 5 分未満の計）ケースは、高齢者夫婦世帯では 34.5%、単身高齢者世帯では 35.4%となっている。

図表 1-7 子どもの住まいとの距離（全国）

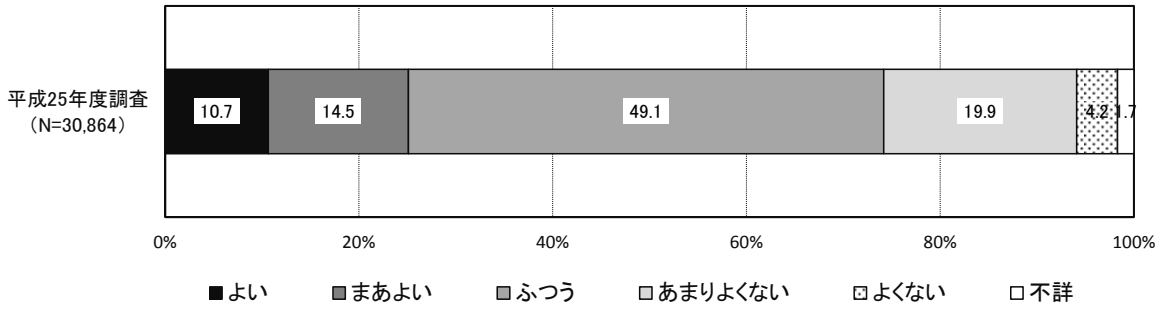


資料　総務省統計局「平成 25 年住宅・土地統計調査報告 速報集計」

（4）健康状態と日常生活の活動状態

健康状態については、国民生活基礎調査（平成 25 年（2013 年））によると、全国で 24.1%の高齢者は、「よくない」「あまりよくない」とし、74.3%は健康（よい･まあよい･ふつう）と回答している。

図表 1-8 高齢者の健康状態（全国）

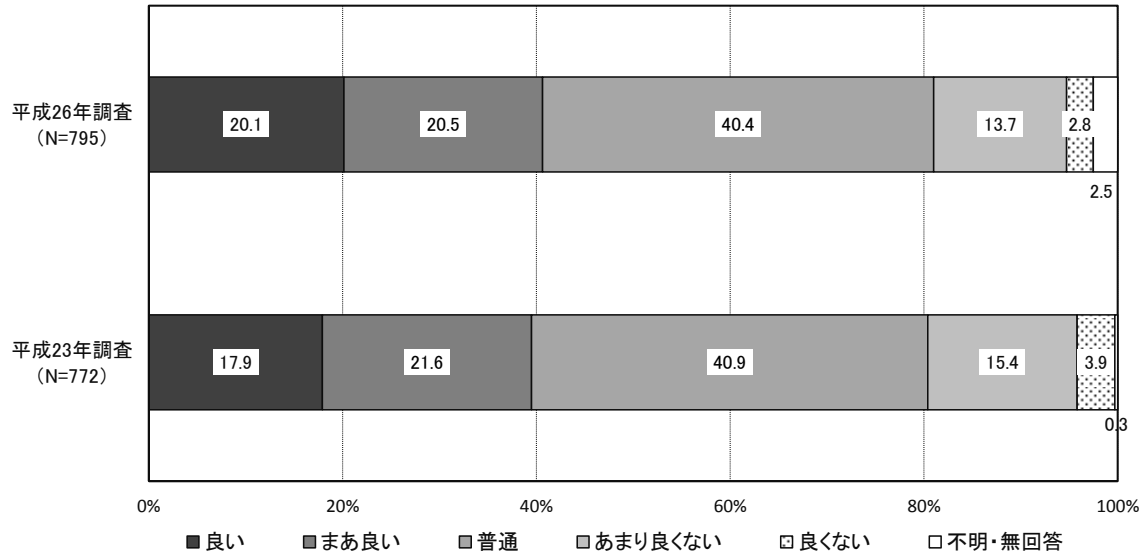


※ 調査回答総数 115,847 人のうち、65 歳以上の 30,864 人についての回答結果である

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成 25 年）

本市の場合、「一般高齢者調査」（平成 26 年（2014 年）6 月実施）によると、16.5%の高齢者が健康状態を「良くない」「あまり良くない」としているが、81.0%は健康（良い・まあ良い・普通）に過ごしているとしている。

図表 1-9 高齢者の健康状態（宝塚市）

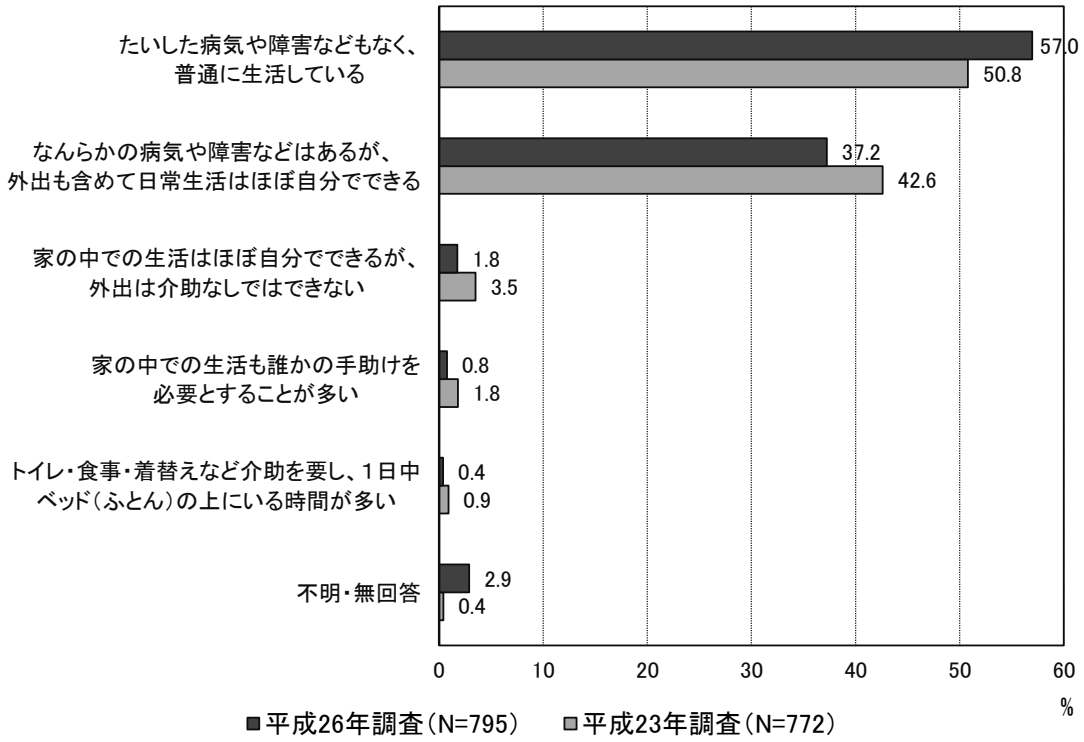


資料：宝塚市「一般高齢者調査」（平成 26 年 6 月、平成 23 年 6 月実施）

日常生活の活動状態については、「たいした病気や障害などもなく、普通に生活している」が57.0%で最も多く、次いで、「なんらかの病気や障害などはあるが、外出も含めて日常生活はほぼ自分でできる」が37.2%となっている。これらを合わせて、日常生活に支障のない人は94.2%となり、平成23年調査に比べて0.8ポイント上回っている。

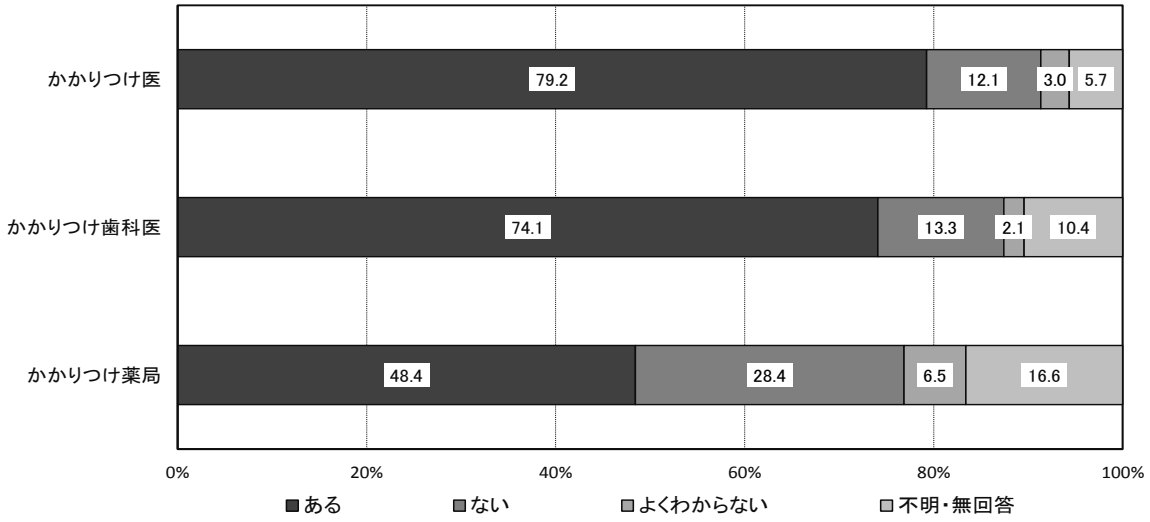
また、かかりつけの医師は79.2%、歯科医は74.1%、薬局は48.4%の高齢者が有している。

図表 1-10 日常生活の活動状態（宝塚市）



資料：宝塚市「一般高齢者調査」（平成26年6月、平成23年6月実施）

図表 1-11 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（宝塚市）



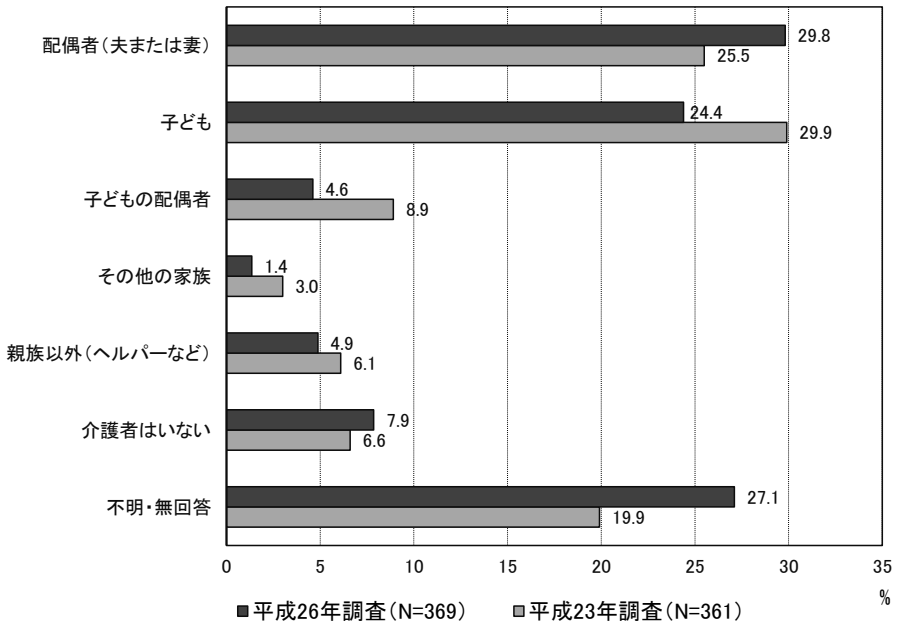
資料：宝塚市「一般高齢者調査」（平成26年6月）

(5) 家族介護者

本市の主な介護者については、宝塚市「在宅要援護者需要調査」（平成 26 年（2014 年）6 月実施）によると、「配偶者」が 29.8%と最も多く、次いで、「子ども」が 24.4%、「子どもの配偶者」が 4.6%で、「配偶者」「子ども」「子どもの配偶者」を合わせた「親族」が 58.8%となっている。

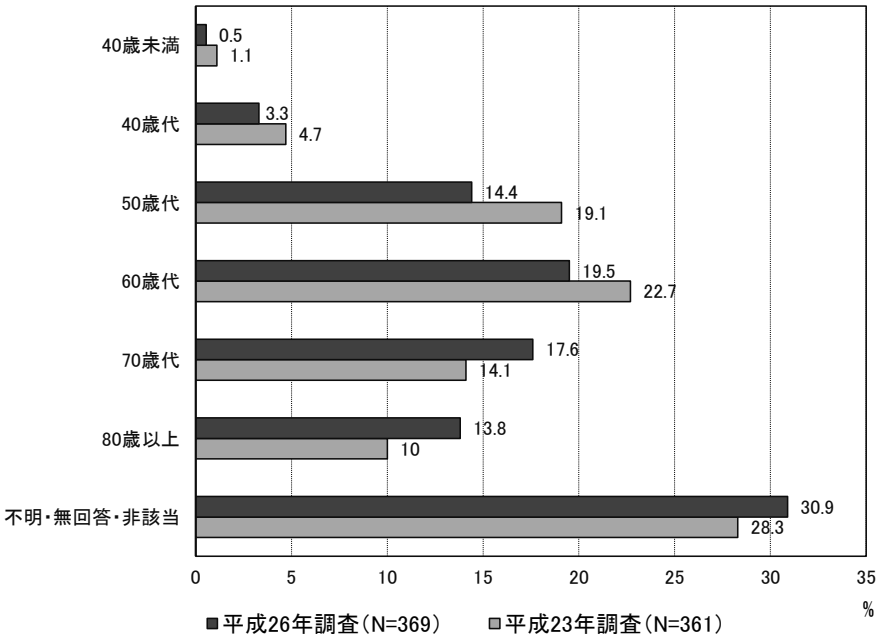
介護者の年齢は、「60 歳代」が 19.5%と最も多く、次いで、「70 歳代」が 17.6%、「50 歳代」が 14.4%、「80 歳以上」が 13.8%となっている。

図表 1-12 介護をしている者（宝塚市）



資料：宝塚市「在宅要援護者需要調査」（平成 26 年 6 月実施、平成 23 年 6 月実施）

図表 1-13 介護者の年齢（宝塚市）



資料：宝塚市「在宅要援護者需要調査」（平成 26 年 6 月実施、平成 23 年 6 月実施）

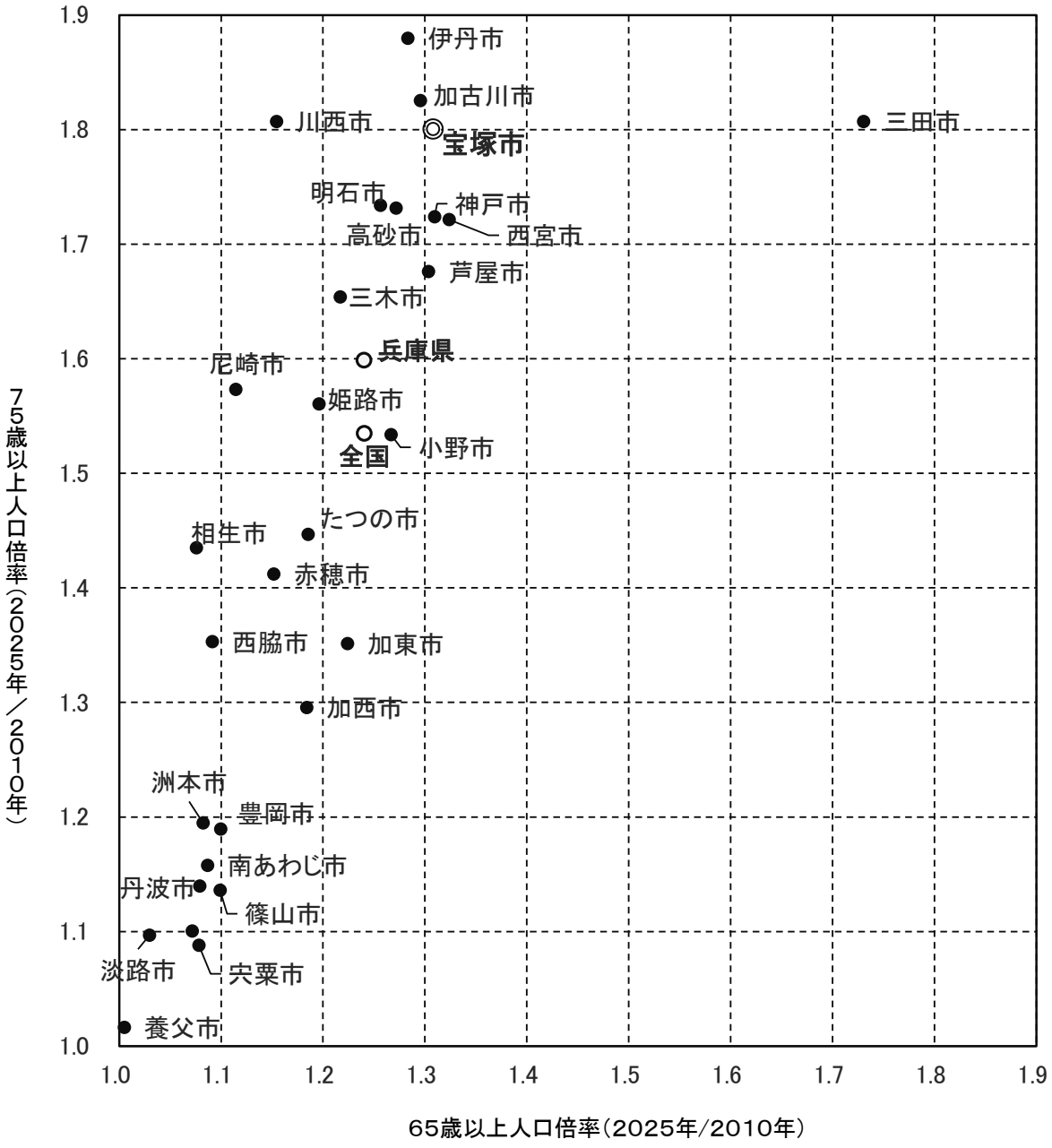
３　被保険者等の現状と将来推計

（1）兵庫県内他市と比べた宝塚市の高齢人口増の度合い

本市の高齢人口については、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成25年（2013年）3月推計）の平成22年（2010年）の国勢調査人口をベースとした将来人口推計によると、平成22年（2010年）から平成37年（2025年）にかけて、65歳以上人口が1.3倍、75歳以上人口が1.8倍になると推計されている。

兵庫県内の市のうち、宝塚市は、75歳以上人口の増加スピード（倍率）で第5位、65歳以上人口の同じ値で第4位であり、他市と比べて、高齢人口の増加スピード（倍率）が極めて高いと見込まれている。

図表 1-14 兵庫県各市の2010年から2025年にかけた65歳以上人口・75歳以上人口倍率



資料：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）

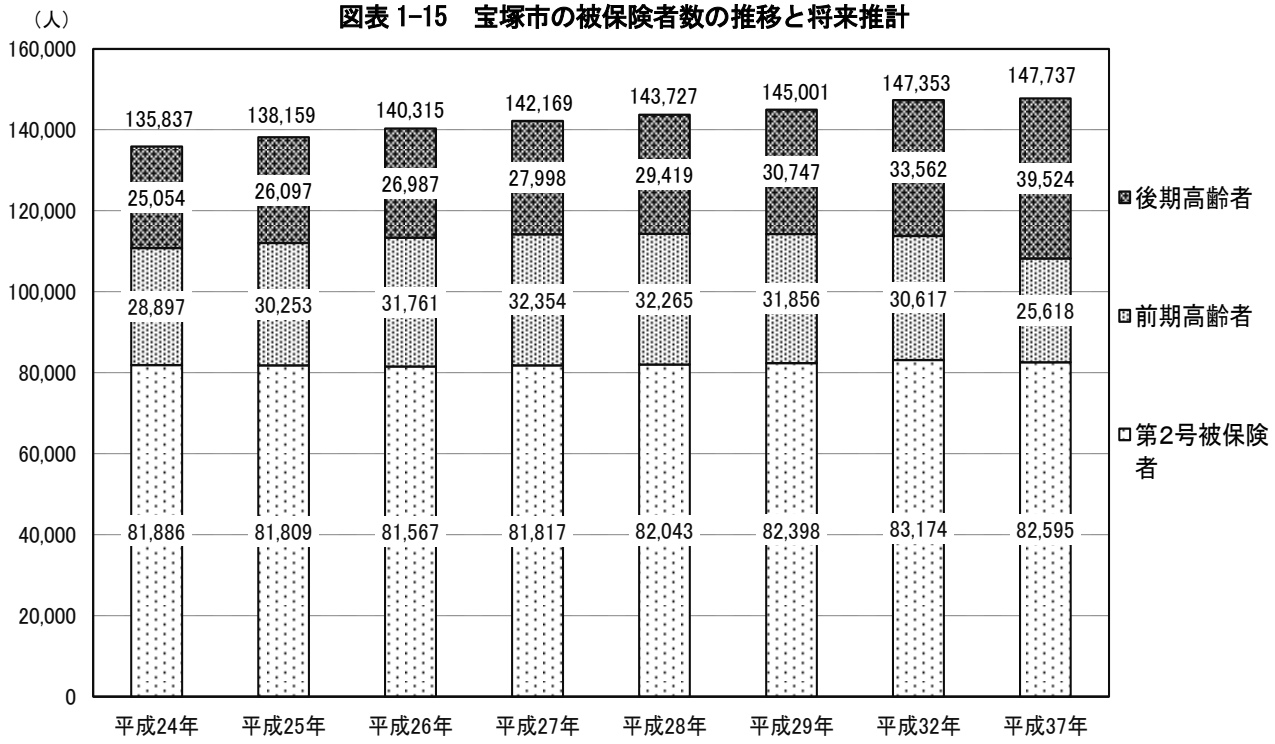
(2) 被保険者の推移と将来推計

わが国は、すでに人口減少社会に突入しているが、本市については、平成 29 年（2017 年）頃まで人口の微増傾向を維持すると推計される。

しかし、本市の高齢化については、平成 24 年（2012 年）は高齢化率が 23.1%であったが、平成 29 年（2017 年）は 26.7%、平成 37 年（2025 年）は 28.2%となる見込みである。

40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者の数については、平成 26 年（2014 年）が約 8.2 万人で、今後も、同人口前後で推移すると見込まれる。一方、65 歳以上の第 1 号被保険者の数については、年々増加しており、今後も増加していくことが見込まれる。

図表 1-15　宝塚市の被保険者数の推移と将来推計



図表 1-16　宝塚市の被保険者数の推移と将来推計

		第5期			第6期			参考	
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成32年	平成37年
総人口		234,019	234,090	234,011	234,256	234,445	234,507	233,968	230,599
高齢化率		23.1%	24.1%	25.1%	25.8%	26.3%	26.7%	27.4%	28.2%
第2号被保険者	40歳～65歳未満	81,886	81,809	81,567	81,817	82,043	82,398	83,174	82,595
第1号被保険者	前期(65～75歳未満)	28,897	30,253	31,761	32,354	32,265	31,856	30,617	25,618
	後期(75歳以上)	25,054	26,097	26,987	27,998	29,419	30,747	33,562	39,524
	計	53,951	56,350	58,748	60,352	61,684	62,603	64,179	65,142
被保険者計		135,837	138,159	140,315	142,169	143,727	145,001	147,353	147,737

※ 平成 24 年～26 年は、住民基本台帳人口（各年 9 月末日現在）。

※ 平成 27 年以降の人口は、平成 22 年～26 年の実績人口からコーホート要因法（※）により推計。

※ 被保険者について：介護保険制度では、40 歳以上の人が介護保険に加入し被保険者となり、被保険者は以下の２つに区分される。　第 1 号被保険者：65 歳以上、第 2 号被保険者：40 歳以上 65 歳未満

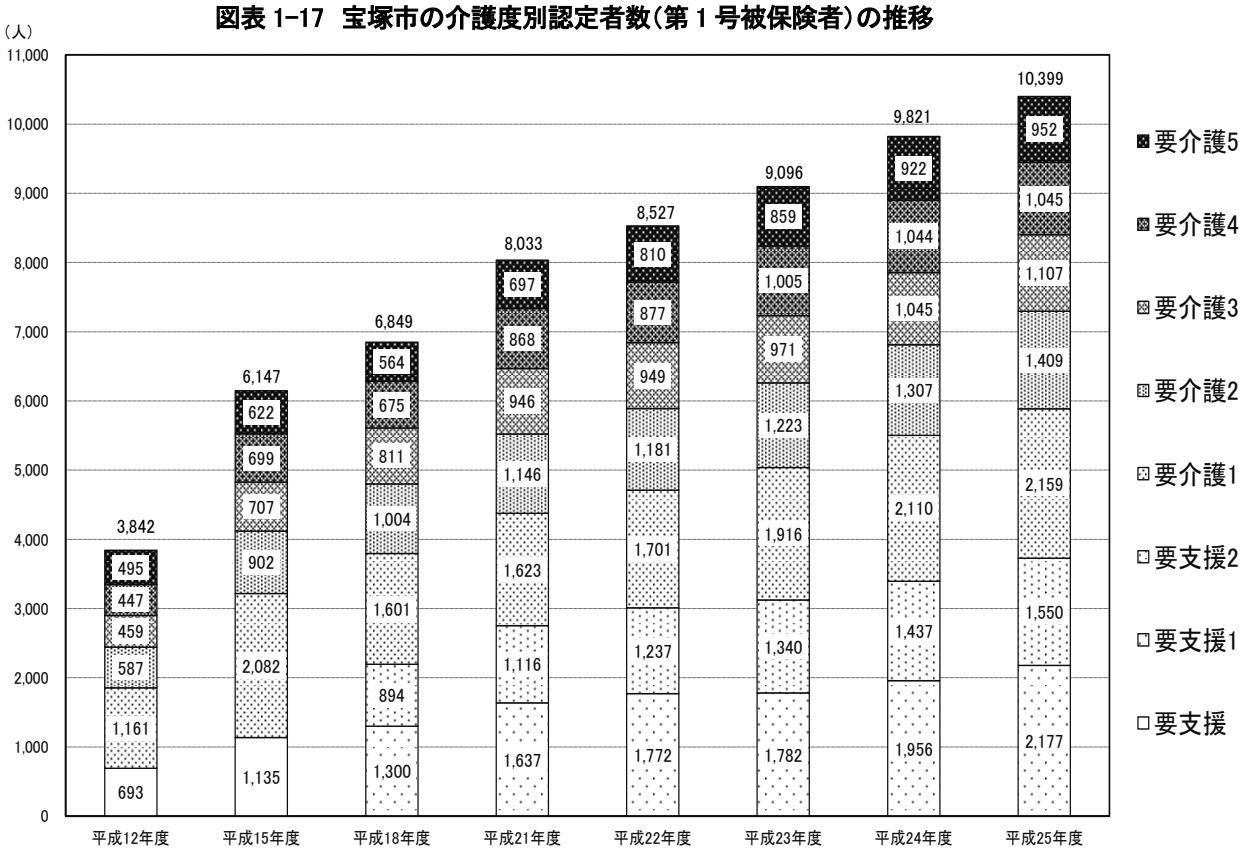
(3) 要介護・要支援認定者の現状

本市の 65 歳以上の要介護者（要支援者）認定者数については、平成 25 年度（2013 年度）末日現在、10,399 人となっており、65 歳以上の高齢者人口の 18.1%となっている。

この認定者数については、介護保険制度が導入された平成 12 年度（2000 年度）の 2.7 倍となっており、全国の伸び率に比較し、本市は高い割合となっている。この認定者数の増加に対し、本市の認定率については、全国の認定率とほぼ同じ割合となっている。

第 1 号被保険者介護度別認定者数の推移については、平成 18 年度に要支援１・要支援２が創設され、それ以降認定者数が増加している。要介護４・要介護５の重介護者も徐々に増加する傾向にある。

図表 1-17 宝塚市の介護度別認定者数（第 1 号被保険者）の推移



※ 各年度 3 月末現在

※ 平成 18 年度の要支援 1 には、経過的要介護（平成 18 年 3 月までに認定した要支援）の者を含む。

図表 1-18 要介護認定の状況（宝塚市、全国）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
①宝塚市第1号被保険者(人)	8,033	8,527	9,096	9,821	10,399
②宝塚市第2号被保険者(人)	184	205	199	197	190
宝塚市合計(①+②)	8,217	8,732	9,295	10,018	10,589
対平成12年度比	207.1	220.1	234.2	252.5	266.9
全国被保険者(人)	4,847,383	5,062,234	5,305,623	5,611,000	5,837,909
対平成12年度比	189.6	198.0	207.5	219.4	228.3
宝塚市認定率	16.1%	16.8%	17.4%	17.9%	18.1%
全国認定率	16.2%	16.9%	17.3%	17.6%	18.2%

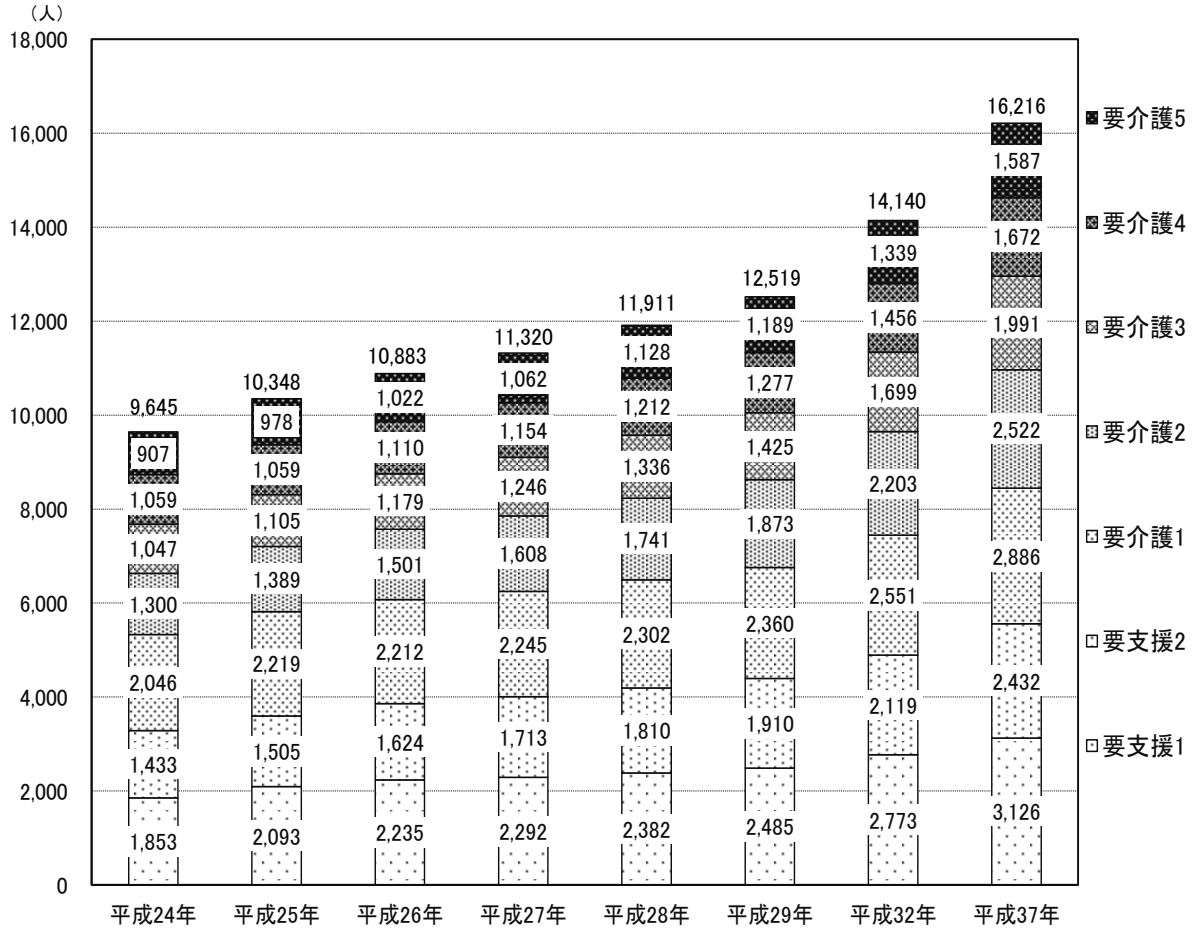
※ 各年度 3 月末現在、全国は厚労省介護保険事業状況報告（暫定）

※ 認定率は、65 歳以上人口に対する要介護・要支援認定者の割合を表した指標

(4) 要介護・要支援認定者の将来推計

要介護・要支援認定者数については、平成 29 年（2017 年）が 12,519 人（平成 26 年（2014 年）から 15%増)、平成 37 年（2025 年）が 16,216 人（平成 26 年（2014 年）から 49%増）と見込まれる。

図表 1-19 宝塚市の要介護・要支援認定者数の推移と将来推計



※ 平成 24 年～26 年は実績、平成 27 年以降は推計（各年９月末現在）である。

4　アンケート調査結果にみる高齢者の現状とニーズ

(1) 在宅要援護者需要調査結果の概要

在宅要援護者需要調査結果の概要を整理すると、次のとおりである。

図表 1-20 在宅要援護者需要調査結果の概要

項目	調査結果	特徴
家族の状況	・「一人暮らし」が33.3%（前回31.6%）、「高齢者夫婦世帯」が28.2%（前回24.7%）。	○「一人暮らし」「高齢者夫婦世帯」の増加。
	・介護者の年齢は「60歳代以上」が71.7%（前回46.8%）。	○「老老介護」の増加。
日常生活の心配事、不安	・主な日常生活の心配事や不安は、「健康」が56.5%（前回50.6%）、「外出」が43.5%（前回36.4%）、「認知症」が39.1%（前回33.9%）、「介護」が28.5%（前回21.8%）など。	○「健康」「外出」「認知症」「介護」への不安の増加。
	・反対に減っている項目は、「収入や生活費」が-6.1ポイント（今回11.1%、前回17.2%）、「災害」が-3.0ポイント（今回8.7%、前回11.7%）、「頼れる人の不在」が-2.9ポイント（今回6.3%、前回9.2%）など。	
心配事、不安の相談相手	・「子ども」が最も多く66.7%（前回62.6%）、次いで「ケアマネージャー」が39.8%（前回31.9%）、さらに「配偶者」が32.2%（前回25.5%）。	○ 在宅要援護者の家族以外の相談相手として、ケアマネージャーの役割が大きい。
介護サービスの満足状況	・介護サービスの「内容・質」に対しては、「満足」が82.9%（前回76.1%）。一方、「不満」は4.3%（前回9.9%）。不満の内容は、「通所サービスのレクリエーション等の内容に不満」「居宅サービス担当者がよく変わる」「サービス内容の事前説明が十分ではない」。	○ 介護サービスの「内容・質」には82.9%が満足し、満足度は上がっている。
	・介護サービスの「量」に対しては、「満足」が78.1%（前回68.5%）。一方、「不満」は6.7%（前回9.5%）。不満の内容は、「支給限度額が低額であるため、１回当たりの時間や回数に制限がある」「利用者負担が高額となるため、十分な時間や回数のサービスが受けられない」「事業者の理由により、１回当たりの時間や回数に制限がある」。	○ 介護サービスの「量」には78.1%が満足し、満足度は上がっている。
	・現在利用している「居宅介護支援事業者」に対しては、「満足」が82.4%(前回76.1%)。一方、「不満」は0.5%（前回5.5%）。不満の内容は、「自分の所属する会社以外のサービスについての利用が少ない」「ケアマネジャーとの連絡が十分になされていない」。	○ 居宅介護支援事業者には82.4%が満足し、満足度は上がっている。
介護を受けたい場所	・将来、介護を受けたい場所としては、「現在の居宅」が最も多く57.2%（前回60.4%）。次いで「介護保険施設」が21.1%（前回15.5%）、「サービス付き高齢者向け住宅」が6.8%（前回1.9%）など。	○ 将来、介護を受けたい場所は、６割が「現在の居宅」。
在宅生活を継続するために必要なこと	・在宅生活を継続するために必要なことは、	
	①「医師・ケアマネージャー・介護事業者等の連携」が最も多く71.8%（前回69.5%）、	○ 保健・医療・福祉の連携を希望。
	②「緊急時や夜間帯の訪問介護・看護サービス」が62.6%（前回57.0%）、	○ 緊急時や夜間対応を希望。
	③「安心して利用できる相談員や相談窓口」が60.7%（前回57.4%）など。	○ 相談員や相談窓口を希望。

資料：前回調査－宝塚市「在宅要援護者需要調査」（平成23年6月実施）
　　今回調査－宝塚市「在宅要援護者需要調査」（平成26年6月実施）

(2) 一般高齢者調査結果の概要

一般高齢者調査結果の概要を整理すると、次のとおりである。

図表 1-21 一般高齢者調査結果の概要

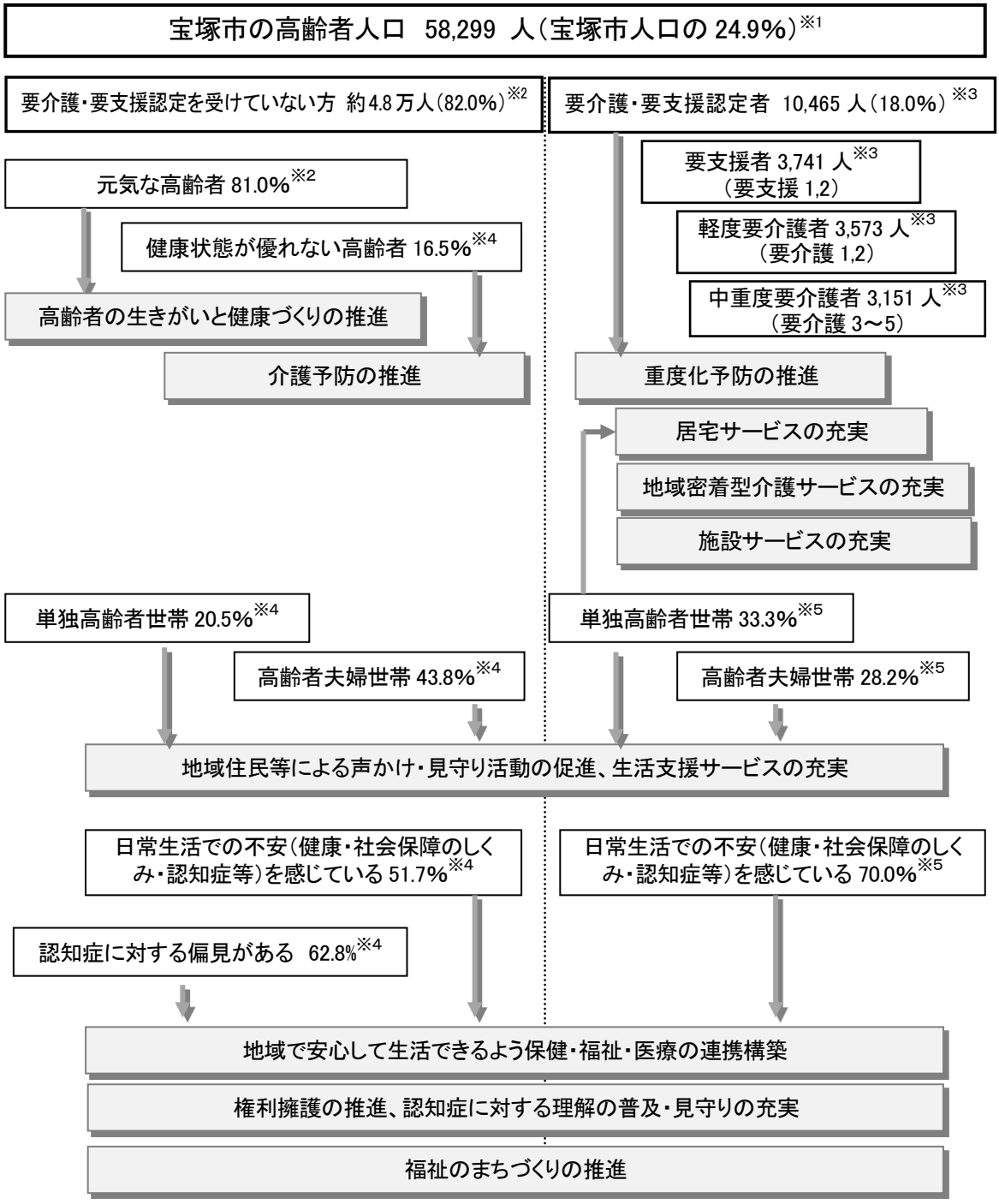
項目	調査結果	特徴
家族の状況	・「一人暮らし」が20.5%（前回24.7%）、「高齢者夫婦世帯」が43.8%（前回41.8%）。	○「高齢者夫婦世帯」の割合が高い。
健康状態	・健康状態について、健康に問題なく過ごしている高齢者は81.0%（前回80.4%）。	○ ８割の高齢者は、健康に問題なく過ごしている。
	・「日頃、体を動かす」ことを行っている高齢者は75.6%（前回73.4%）。一方、十分に行っていない高齢者は22.9%（前回24.7%）。	○ ２割の高齢者は、体を動かすことが不十分。
	・頭の老化防止を「行っている」高齢者は74.7%（前回75.9%）。一方、十分に行っていない高齢者は22.8%（前回22.1%）。	○ ２割の高齢者は、頭の老化防止が不十分。
	・外出頻度について、「ほぼ毎日（週に４～７回）」が61.0%（前回56.0%）。一方、あまり外出しない（週１回以下）の高齢者は10.7%（前回13.3%）。	○ １割の高齢者が、閉じこもりがち。
日常生活の心配事、不安	・日常生活の心配事、不安について、「感じている」が51.7%（前回53.9%）。	○ ５割以上の高齢者が日常生活の心配事、不安をもつ。
	・心配事、不安の内容は、「健康」が55.5%（前回60.6%）、「認知症」が42.3%（前回35.8%）、「社会保障のしくみが変わること」が36.7%（前回37.3）。	○ 認知症に対する不安が増加している。
介護が必要となった際の要望	・「将来介護が必要になっても、自宅で、あるいは子どもの家に同居して生活を続けたい」が45.0%（前回46.8%）。「介護が必要になって生活が困難になれば、介護の付いている住まいや施設に移りたい」が40.1%（前回37.7%）。	○ ４割強の高齢者が将来、介護を受けたい場所は、「現在の居宅」。４割は「介護付きの住まいや施設」。
	・住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が58.5%（前回59.3%）。	○ ６割弱の高齢者が、必要に応じて住宅改修を希望。
	・在宅生活を継続するために必要なことは、 ①「医師・ケアマネージャー・介護事業者等の連携」が最も多く73.8%（前回78.3%）、	○ 保健・医療・福祉の連携を希望。
	②「緊急時や夜間帯の訪問介護・看護サービス」が72.5%（前回75.2%）、	○ 緊急時や夜間対応を希望。
	③「安心して利用できる相談員や相談窓口」が69.1%（前回70.9%）など。	○ 相談員や相談窓口を希望。
認知症について	・認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思っている高齢者が62.8%（前回66.8%）。	○ 認知症の人に対しては偏見があると思っている。
	・認知症になった時に生活したい場所は、「自宅」が28.4%（前回31.1%）、「特別養護老人ホーム・老人保健施設」が25.4%（前回24.7%）。一方で、「わからない」が27.5%（前回24.4%）。	○ 認知症になった時の生活は「自宅」「施設」「わからない」がほぼ同じ割合。
	・認知症の人が住み慣れた地域で生活を続けるために必要な支援については、 ①「自宅で介護する家族のための相談体制」が36.0%（前回37.3%）が最も多く、	○ ４割弱の高齢者が「相談体制」「デイサービスと訪問介護」「見守り」を望んでいる。
	②「デイサービスと訪問介護の充実」が35.3%（前回40.0%）、	
	③「地域での見守り体制や安否確認体制」が34.6%（前回30.4%）など。	

資料：前回調査－宝塚市「一般高齢者調査」（平成23年6月実施）
今回調査－宝塚市「一般高齢者調査」（平成26年6月実施）

(3) 高齢者の現状と対応課題

本市の高齢者の現状と対応課題については、要介護・要支援認定者の有無や家族構成、高齢者ニーズ調査などにより整理すると、以下のとおりである。

図表 1-22 高齢者の現状と対応課題



※1 住民基本台帳（平成 26 年 7 月末日現在）による。
※2 住民基本台帳（平成 26 年 7 月末日現在）から、同時期の要介護・要支援認定者（第 1 号被保険者）数を除した数値
※3 要介護・要支援認定者（第 1 号被保険者）数（平成 26 年 7 月末日現在）
※4 宝塚市「一般高齢者調査」結果による。
※5 宝塚市「在宅要援護者需要調査」結果による。

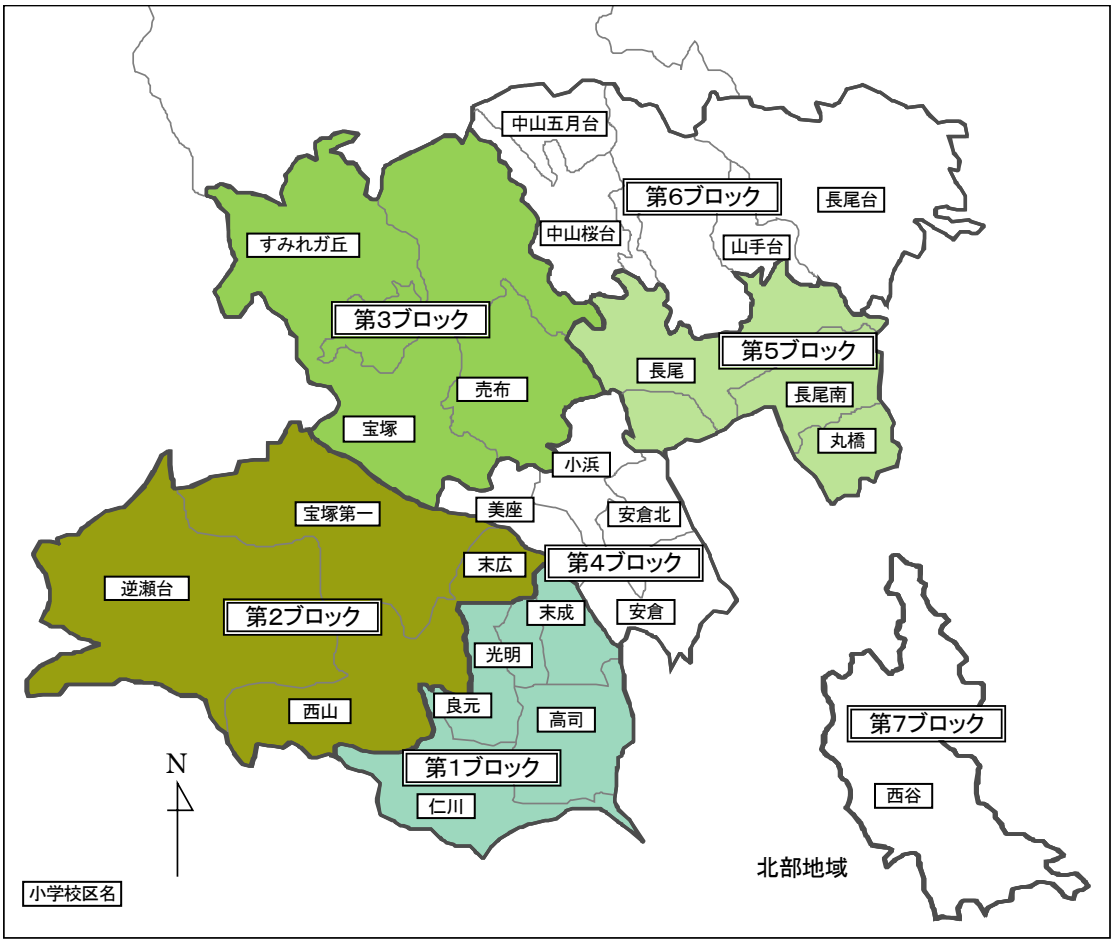
５　日常生活圏域の現況

（1）日常生活圏域の現況

「日常生活圏域」とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、人口・地理的条件、交通事情や社会的条件、介護サービス施設の整備状況やまちづくり活動の単位などを総合的に勘案し、地域の特性に応じて設定したものである。

本市においては、まちづくり活動等に基づく７つの地域割が定着していることや、その地域割に依拠して基盤整備等を推進してきた経緯、さらに人口規模や社会的条件等を総合的に勘案し、この７つの地域を「日常生活圏域」と設定した。今後も、圏域における高齢者の実態把握や地域ケアの充実に努め、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう基盤整備を図っていく。

図表 1-23 宝塚市の日常生活圏域



日常生活圏域名	地域（小学校区名）
第１ブロック（小林）	仁川・末成・高司・良元・光明小学校区
第２ブロック（逆瀬川）	末広・宝塚第一・西山・逆瀬台小学校区
第３ブロック（御殿山）	宝塚・すみれガ丘・売布小学校区
第４ブロック（小浜）	小浜・美座・安倉・安倉北小学校区
第５ブロック（長尾）	長尾・長尾南・丸橋小学校区
第６ブロック（花屋敷）	山手台・長尾台・中山五月台・中山桜台小学校区
第７ブロック（西谷）	西谷小学校区

図表 1-24 日常生活圏域の概要

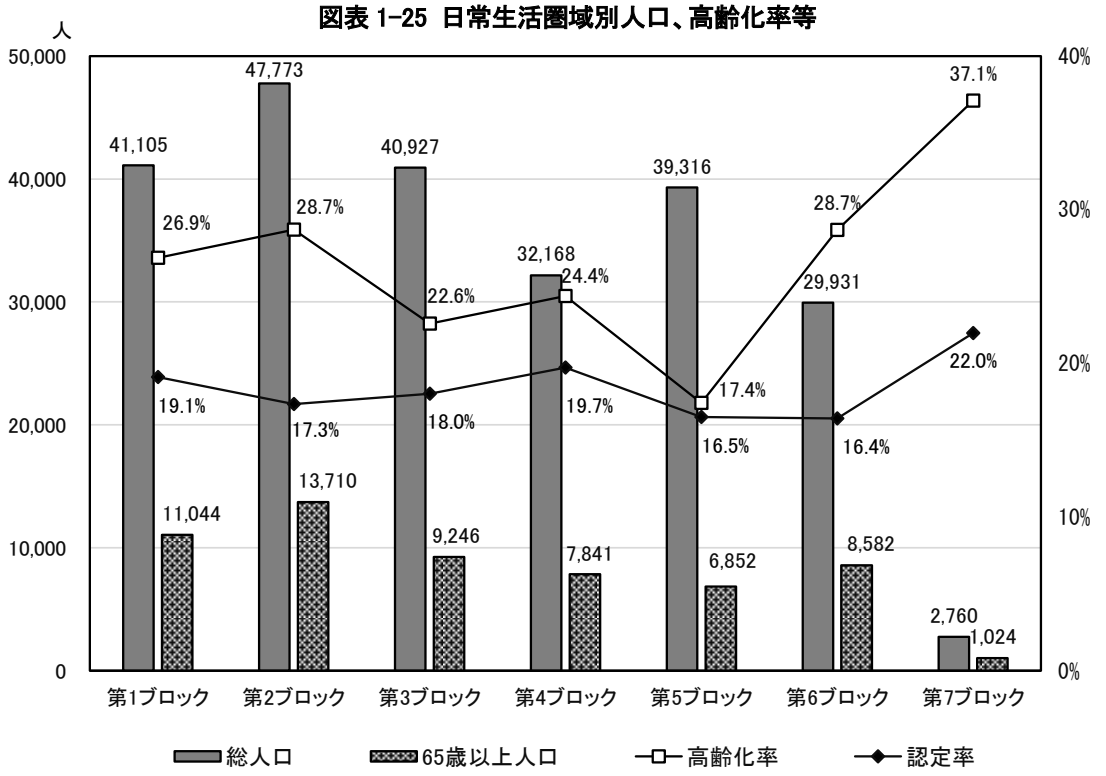
※住民基本台帳（平成 26 年 7 月末日現在）
※要介護・要支援認定者数は第 2 号被保険者を含まない
（平成 26 年 7 月末日現在）
★：地域包括支援センター

7 つの日常生活圏域のうち、最も人口規模の大きな圏域は、第２ブロックの 47,773 人（65 歳以上人口 13,710 人）であり、最も人口規模の小さな圏域は、第７ブロック（西谷地区）の 2,760 人(65 歳以上人口 1,024 人)である。

また、高齢化率が最も高い圏域は、第７ブロックの 37.1%であり、次いで、第２ブロックの 28.7%、第６ブロックの 28.7%である。

認定率が高い圏域は、第７ブロックの 22.0%であり、次いで、第４ブロックの 19.7%、第１ブロックの 19.1%となっている。

図表 1-25 日常生活圏域別人口、高齢化率等



※ 住民基本台帳（平成 26 年 7 月末日現在）
※ 要介護・要支援認定者数は第 2 号被保険者を含まない（平成 26 年 7 月末日現在）。

図表 1-26 日常生活圏域別要介護･要支援認定者数

日常生活圏域	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1ブロック	397	315	436	281	236	230	216	2,111
	18.8%	14.9%	20.7%	13.3%	11.2%	10.9%	10.2%	100.0%
第2ブロック	591	346	493	276	259	224	189	2,378
	24.9%	14.6%	20.7%	11.6%	10.9%	9.4%	7.9%	100.0%
第3ブロック	341	265	335	239	153	175	158	1,666
	20.5%	15.9%	20.1%	14.3%	9.2%	10.5%	9.5%	100.0%
第4ブロック	313	237	334	210	166	147	139	1,546
	20.2%	15.3%	21.6%	13.6%	10.7%	9.5%	9.0%	100.0%
第5ブロック	227	169	249	161	111	110	104	1,131
	20.1%	14.9%	22.0%	14.2%	9.8%	9.7%	9.2%	100.0%
第6ブロック	294	193	266	198	176	138	143	1,408
	20.9%	13.7%	18.9%	14.1%	12.5%	9.8%	10.2%	100.0%
第7ブロック	33	20	62	33	32	27	18	225
	14.7%	8.9%	27.6%	14.7%	14.2%	12.0%	8.0%	100.0%
総計	2,196	1,545	2,175	1,398	1,133	1,051	967	10,465
	21.0%	14.8%	20.8%	13.4%	10.8%	10.0%	9.2%	100.0%

※ 平成 26 年 7 月末日現在で、第 2 号被保険者を含まない。

(2) 日常生活圏域別の高齢者等の現況

各ブロックの高齢者の現状については、宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成 26 年（2014 年）6 月実施）の結果によると、以下のとおりである。

図表 1-27 日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

項目			市全体	第１ブロック	第２ブロック	第３ブロック	第４ブロック	第５ブロック	第６ブロック	第７ブロック
家族・住居	一人暮らしの割合	今回(H26)	22.2%	25.1%	23.0%	25.8%	25.5%	19.9%	21.6%	12.9%
		前回(H23)	22.9%	26.5%	24.4%	24.5%	26.3%	19.1%	23.7%	13.9%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	今回(H26)	51.4%	53.8%	57.9%	56.9%	49.8%	52.7%	51.1%	35.4%
		前回(H23)	53.6%	55.9%	59.9%	59.1%	54.1%	51.5%	58.9%	32.8%
	持ち家率	今回(H26)	81.5%	80.4%	77.5%	84.6%	72.9%	79.6%	89.4%	86.0%
		前回(H23)	79.3%	77.1%	76.3%	82.2%	72.2%	78.4%	84.7%	85.2%
介助・介護	介助・介護を必要としない割合	今回(H26)	70.5%	70.0%	73.0%	69.3%	71.3%	69.2%	75.8%	63.7%
		前回(H23)	71.1%	68.1%	75.9%	73.4%	66.3%	75.2%	77.2%	59.7%
	介助・介護を必要とする割合	今回(H26)	17.0%	17.1%	16.2%	17.4%	16.3%	16.8%	14.9%	21.8%
		前回(H23)	16.2%	16.6%	13.9%	16.4%	20.5%	13.5%	12.7%	20.7%
	通院の介助の必要性	今回(H26)	9.9%	8.9%	9.1%	11.2%	10.2%	7.6%	8.2%	15.2%
		前回(H23)	12.2%	12.7%	8.0%	12.4%	13.7%	9.2%	10.2%	21.0%
健康状況	健康と思う割合	今回(H26)	73.1%	74.9%	73.5%	74.6%	72.0%	70.8%	75.0%	70.4%
		前回(H23)	76.5%	74.8%	81.7%	76.0%	70.0%	75.7%	80.5%	76.5%
	家事のできる割合	今回(H26)	77.5%	77.0%	76.1%	80.0%	78.2%	77.2%	82.0%	70.7%
		前回(H23)	76.0%	75.3%	79.1%	78.3%	72.7%	80.9%	80.5%	63.1%
	通院している割合	今回(H26)	78.2%	82.5%	79.1%	77.3%	76.1%	78.1%	78.0%	75.8%
		前回(H23)	77.4%	77.8%	78.2%	79.9%	78.3%	77.5%	76.3%	73.0%
外出の状況	週１回以上外出する割合	今回(H26)	86.8%	87.3%	87.2%	87.3%	89.7%	88.7%	88.1%	78.0%
		前回(H23)	86.6%	88.5%	88.9%	87.8%	88.0%	89.2%	91.3%	69.9%
	外出を控えている割合	今回(H26)	23.5%	23.5%	22.5%	25.4%	21.6%	25.0%	20.3%	26.6%
		前回(H23)	25.6%	25.6%	20.2%	29.6%	30.2%	23.3%	22.1%	29.0%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	今回(H26)	29.8%	32.3%	29.7%	31.2%	28.7%	30.5%	27.3%	28.8%
		前回(H23)	34.0%	34.2%	30.6%	35.8%	39.5%	35.0%	28.4%	34.7%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	今回(H26)	29.6%	23.3%	20.0%	19.4%	29.8%	31.6%	32.0%	55.1%
		前回(H23)	－	－	－	－	－	－	－	－
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	今回(H26)	7.7%	7.6%	6.8%	5.1%	4.1%	5.5%	5.9%	14.5%
		前回(H23)	－	－	－	－	－	－	－	－
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	今回(H26)	20.4%	19.8%	19.6%	17.1%	18.3%	20.8%	19.1%	29.3%
		前回(H23)	16.9%	15.7%	16.7%	14.5%	17.8%	18.4%	17.1%	18.5%
	趣味を持つ割合	今回(H26)	82.2%	81.3%	83.8%	80.6%	80.0%	80.5%	87.7%	80.4%
		前回(H23)	80.4%	78.2%	84.7%	81.5%	73.7%	80.9%	87.6%	75.3%
	いきがいを持つ割合	今回(H26)	81.0%	79.5%	82.2%	81.7%	76.4%	80.8%	84.3%	82.3%
		前回(H23)	77.9%	76.4%	77.7%	80.4%	70.2%	81.4%	81.7%	77.6%
サンプル数		今回(H26)	N=3059	N=434	N=444	N=449	N=436	N=452	N=472	N=372
		前回(H23)	N=2905	N=445	N=431	N=433	N=410	N=408	N=426	N=352

資料：前回調査－宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成23年6月実施）
今回調査－宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

ア　第１ブロック（小林）

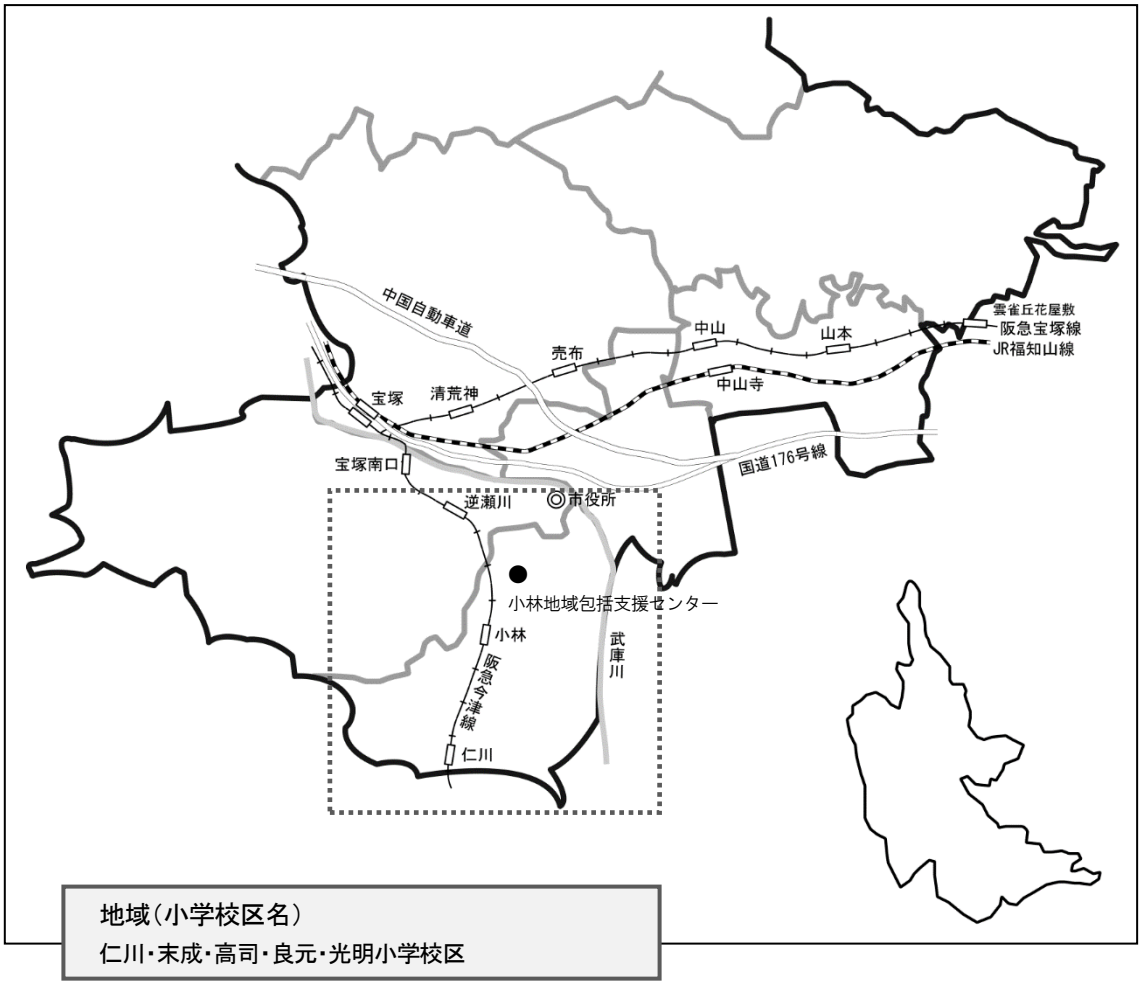
《地域の概要》

第１ブロックは、本市南部の武庫川右岸に広がる地域であり、阪急今津線の沿線地域である。阪急今津線の東側は、商業住宅地域と本市唯一の工業地域を有し、西側には住宅地が形成されている。

本市人口の 17.6%、高齢者人口の 18.9%（うち後期高齢者 18.8%）を占め、第２ブロックに次いで人口および高齢者人口の多い地域である。

高齢化率は26.9%と市の平均を2.0ポイント上回っており、19.1%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図表 1-28 第1ブロック位置図



図表 1-29 高齢者の人口等（第１ブロック:小林）

項　目		第1ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		41,105 人	233,980 人	17.6%
65 歳以上人口		11,044 人	58,299 人	18.9%
	前期高齢者（65-74 歳）	6,007 人	31,472 人	19.1%
	後期高齢者（75 歳-）	5,037 人	26,827 人	18.8%
高齢化率（65 歳以上人口比率）		26.9%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	12.3%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		2,111 人	10,465 人	20.2%
認定率		19.1%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 25.1%、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 53.8%といずれも市平均を上回っている。

介助・介護を必要としない高齢者については 70.0%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 17.1%となっている。

健康状況については、「健康と思う」が 74.9%と市平均を上回り元気な方が多い一方で、「通院している」が 82.5%と市平均を上回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 87.3%と、市平均を上回る一方で、「昨年と比べて外出回数が減っている」が 32.3%と、市平均を上回っており、外出する方とそうでない方とに分化している可能性がうかがわれる。

図表 1-30 高齢者の特徴（第１ブロック：小林）

調査項目		市全体	第１ブロック（小林）
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	25.1%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	53.8%
	持ち家率	81.5%	80.4%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	70.0%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	17.1%
	通院の介助の必要性	9.9%	8.9%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	74.9%
	家事のできる割合	77.5%	77.0%
	通院している割合	78.2%	82.5%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	87.3%
	外出を控えている割合	23.5%	23.5%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	32.3%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	23.3%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	7.6%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	19.8%
	趣味を持つ割合	82.2%	81.3%
	いきがいを持つ割合	81.0%	79.5%
サンプル数		N=3,059	N=434

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-31 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況（第1ブロック）

種別		施設名（定員数）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	―
	認知症対応型共同生活介護	・グループホームはる仁川(9) ・グループホームたのしい家仁川(18) ・グループホーム宝塚ちどり(18) ・グループホームケアホーム宝塚(9)
	認知症対応型通所介護	―
	夜間対応型訪問介護	―
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・宝塚ちどり(100)
	介護老人保健施設	・ケアヴィラ宝塚(100)
	介護療養施設	―
	特定施設入居者生活介護	・くらら仁川(42)

イ　第２ブロック（逆瀬川）

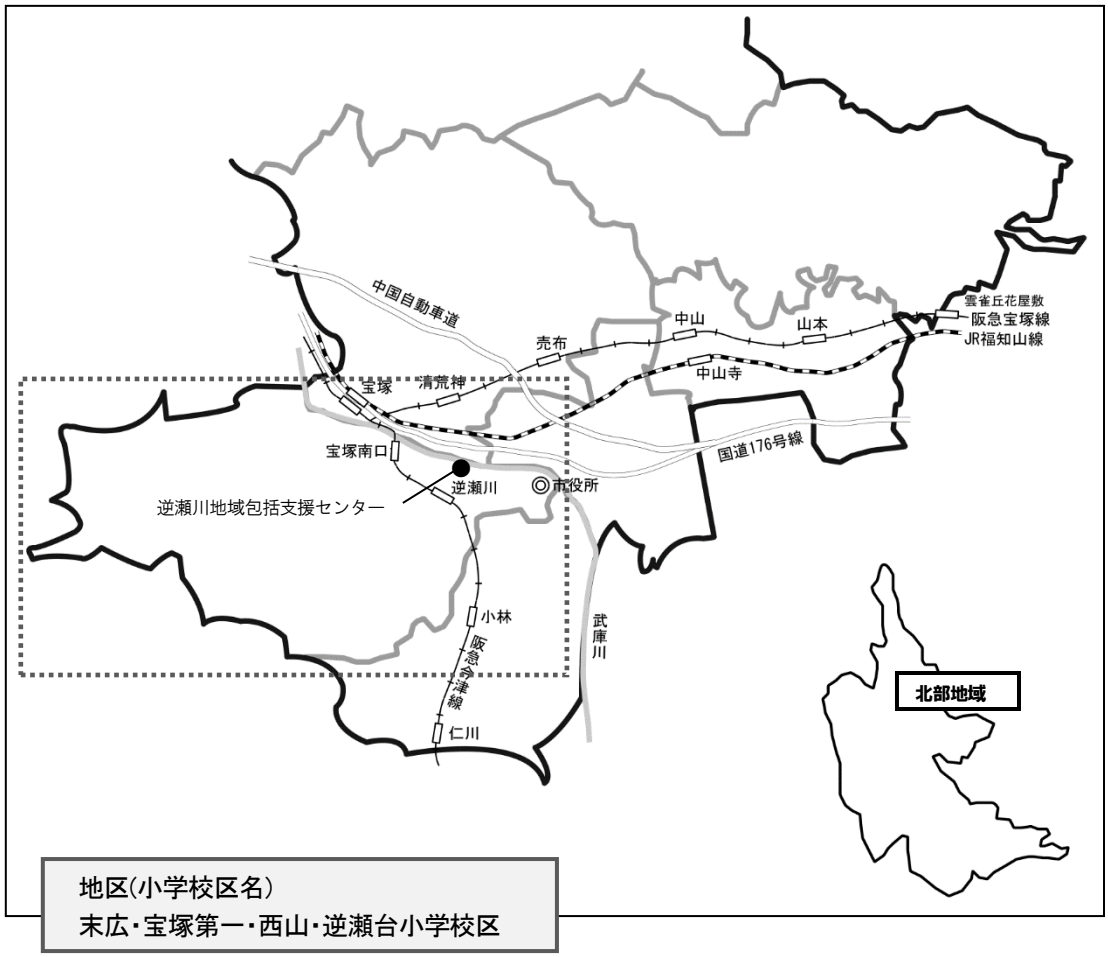
《地域の概要》

第２ブロックは、本市西部の武庫川右岸に広がる阪急今津線沿線の地域であり、阪急今津線の西側の丘陵地は、自然豊かな閑静な住宅地となっている。

本市人口の２割を占める最も人口の多い地域であるとともに、本市高齢者人口の 23.5%（うち後期高齢者 25.6%）を占める高齢者人口の最も多い地域である。

高齢化率は28.7%と市の平均を3.8ポイント上回っており、17.3%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図表 1-32 第2ブロック位置図



図表 1-33 高齢者の人口等（第2ブロック:逆瀬川）

項　目		第2ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		47,773 人	233,980 人	20.4%
65 歳以上人口		13,710 人	58,299 人	23.5%
	前期高齢者（65-74 歳）	6,851 人	31,472 人	21.8%
	後期高齢者（75 歳-）	6,859 人	26,827 人	25.6%
高齢化率（65 歳以上人口比率）		28.7%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	14.4%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		2,378 人	10,465 人	22.7%
認定率		17.3%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 23.0%で市平均よりも高く、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 57.9%といずれも市平均を上回っている。

介助・介護を必要としない高齢者については 73.0%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 16.2%となっている。市平均と比べると、介助・介護の必要度がやや低い地域といえる。

健康状況については、「健康と思う」が 73.5%と市平均を上回り元気な方が多い一方で、「通院している」が 79.1%と、市平均を上回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 87.2%と、市平均を上回っている。

仕事・趣味等については、「趣味を持つ」が 83.8%、「いきがいを持つ」が 82.2%と、いずれも市平均を上回っている。

図表 1-34 高齢者の特徴（第 2 ブロック:逆瀬川）

調査項目		市全体	第２ブロック（逆瀬川）
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	23.0%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	57.9%
	持ち家率	81.5%	77.5%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	73.0%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	16.2%
	通院の介助の必要性	9.9%	9.1%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	73.5%
	家事のできる割合	77.5%	76.1%
	通院している割合	78.2%	79.1%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	87.2%
	外出を控えている割合	23.5%	22.5%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	29.7%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	20.0%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	6.8%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	19.6%
	趣味を持つ割合	82.2%	83.8%
	いきがいを持つ割合	81.0%	82.2%
サンプル数		N=3,059	N=444

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-35 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況（第2ブロック）

種別		施設名（定員数）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	－
	認知症対応型共同生活介護	・グループホーム はる逆瀬川(18) ・グループホーム アンジェリカ(18)
	認知症対応型通所介護	・聖隷逆瀬川デイサービスセンター虹(10)
	夜間対応型訪問介護	－
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・宝塚栄光園(70)
	介護老人保健施設	－
	介護療養施設	－
	特定施設入居者生活介護	・宝塚エデンの園(551) ・サンシティ宝塚(380) ・メディカルホームグランダ逆瀬川・宝塚(66) ・プラチナ・シニアホーム宝塚逆瀬川(34)

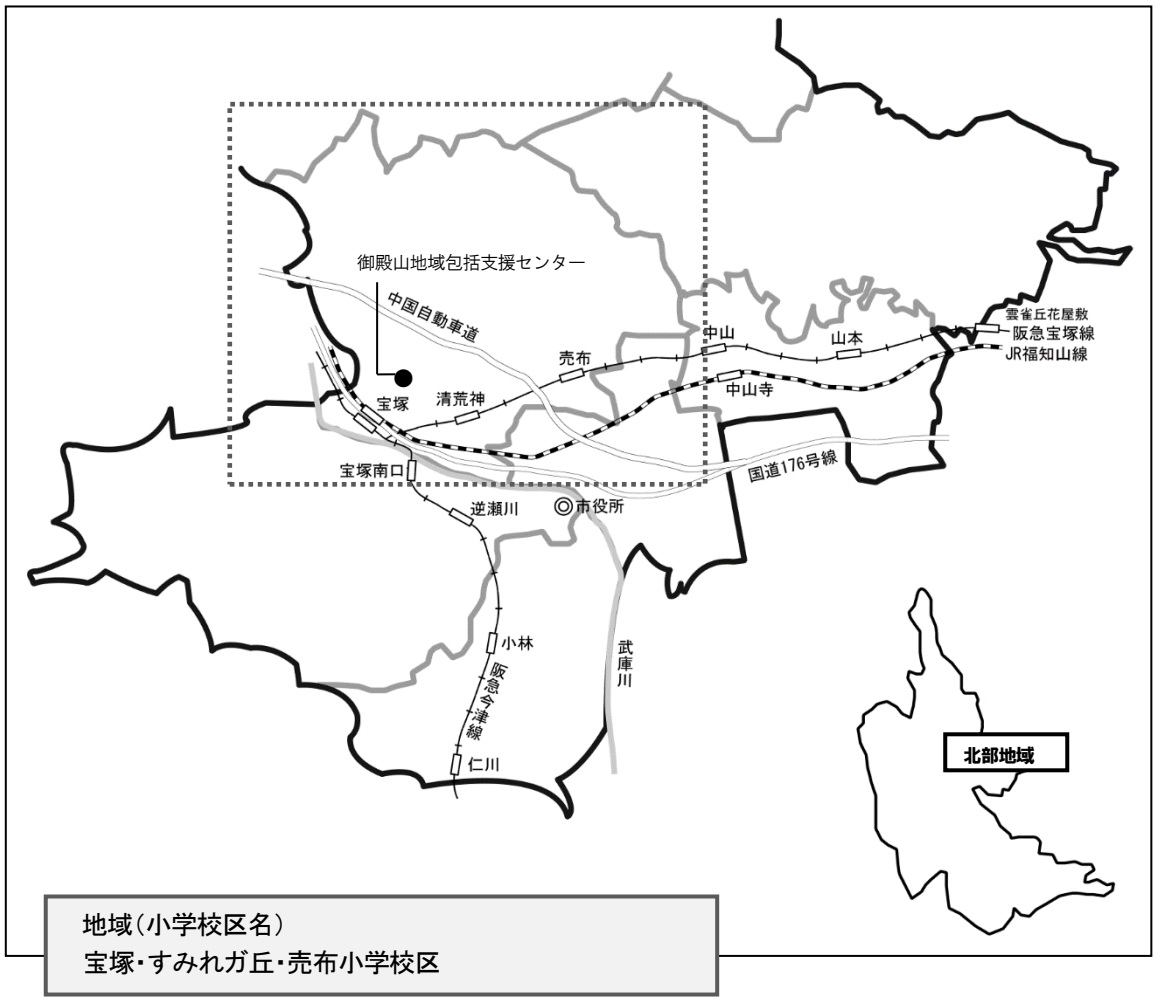
ウ　第３ブロック（御殿山）

《地域の概要》

第３ブロックは、商業・業務、観光・文化施設が集積する本市の中心市街地を含む地域であり、平坦部は住商混在地区、丘陵部は住宅地区となっている。

本市人口の 17.5%、本市高齢者人口の 15.9%を占め、高齢化率は 22.6%と市の平均を 2.3 ポイント下回っており、18.0%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図表 1-36 第３ブロック位置図



図表 1-37 高齢者の人口等（第3ブロック:御殿山）

項　目		第3ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		40,927 人	233,980 人	17.5%
65 歳以上人口		9,246 人	58,299 人	15.9%
	前期高齢者(65-74 歳)	4,919 人	31,472 人	15.6%
	後期高齢者(75 歳-)	4,327 人	26,827 人	16.1%
高齢化率(65 歳以上人口比率)		22.6%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	10.6%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		1,666 人	10,465 人	15.9%
認定率		18.0%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 25.8%、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 56.9%といずれも市平均を上回っている。

介助・介護を必要としない高齢者については 69.3%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 17.4%となっている。市平均と比べると、介助・介護の必要度がやや高い地域といえる。

健康状況については、「健康と思う」が 74.6%と市平均を上回り元気な方が多く、「通院している」が 77.3%と市平均を下回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 87.3%と市平均を上回る一方で、「外出を控えている」が 25.4%、「昨年と比べて外出回数が減っている」が 31.3%と、いずれも市平均を上回っている。外出する方とそうでない方とに分化している可能性がうかがわれる。

仕事・趣味等については、「いきがいを持つ」が 81.7%と、市平均を上回っている。

図表 1-38 高齢者の特徴（第３ブロック：御殿山）

調査項目		市全体	第３ブロック（御殿山）
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	25.8%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	56.9%
	持ち家率	81.5%	84.6%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	69.3%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	17.4%
	通院の介助の必要性	9.9%	11.2%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	74.6%
	家事のできる割合	77.5%	80.0%
	通院している割合	78.2%	77.3%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	87.3%
	外出を控えている割合	23.5%	25.4%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	31.2%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	19.4%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	5.1%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	17.1%
	趣味を持つ割合	82.2%	80.6%
	いきがいを持つ割合	81.0%	81.7%
サンプル数		N=3,059	N=449

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-39 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況（第3ブロック）

種別		施設名（定員数）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	・小規模多機能型居宅介護「せせらぎ」(25)
	認知症対応型共同生活介護	・グループホーム「かわも」(18)
	認知症対応型通所介護	・児玉診療所デイサービス「のどか」(24) ・デイサービスセンターたちばな(10) ・特定非営利活動法人めふのお家(8)
	夜間対応型訪問介護	－
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・夢御殿山(80) ・星花苑(50)
	介護老人保健施設	―
	介護療養施設	―
	特定施設入居者生活介護	・グランポルト宝塚(39) ・チャーム・スイート宝塚売布(100)

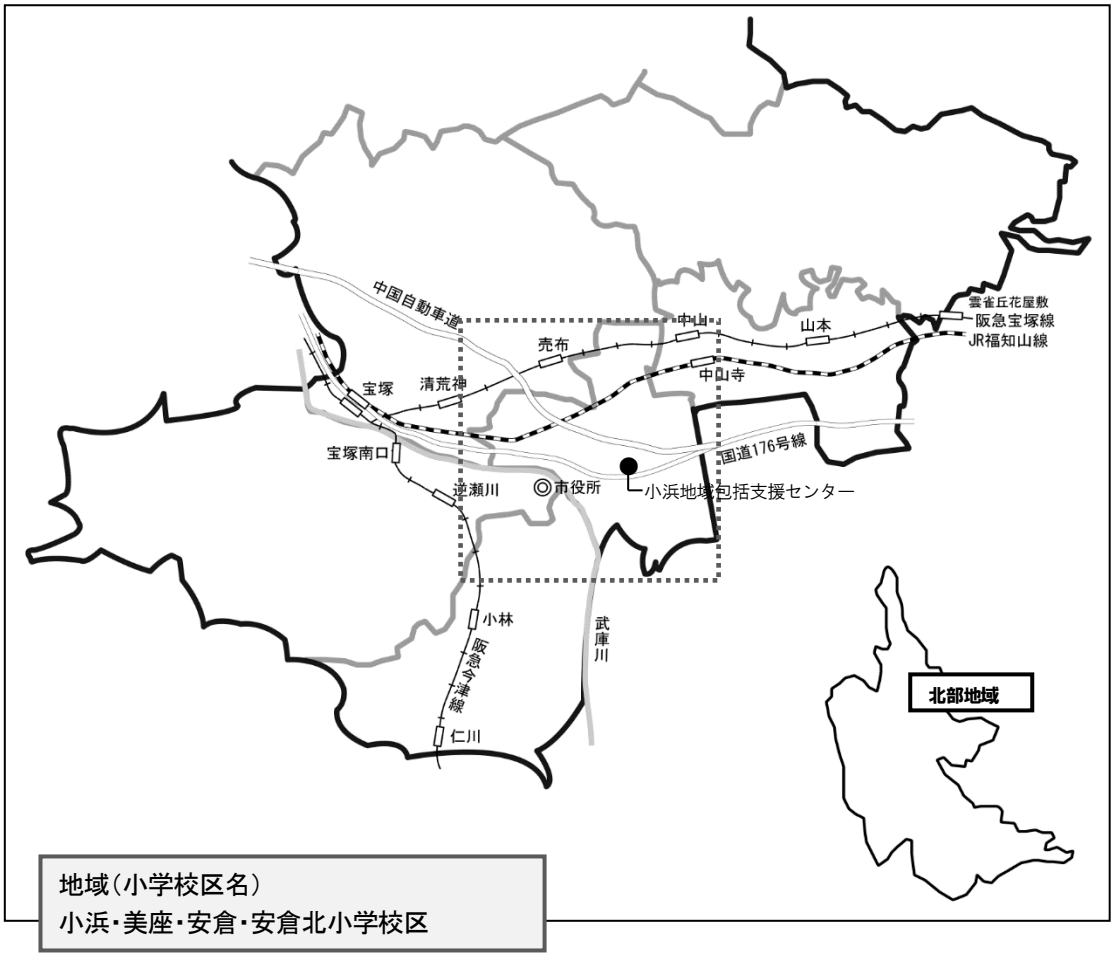
エ　第４ブロック（小浜）

《地域の概要》

第４ブロックは、武庫川左岸の平坦な地域であり、一戸建て、集合住宅、商業施設が混在する古くから市街地が形成された地域である。宝塚市立病院や総合福祉センターなどの公共施設が立地する地域である。

本市人口の 13.7%、本市高齢者人口の 13.4%を占め、高齢化率は 24.4%と市の平均を 0.5 ポイント下回っており、19.7%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図表 1-40 第4ブロック位置図



図表 1-41 高齢者の人口等（第4ブロック:小浜）

項　目		第4ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		32,168 人	233,980 人	13.7%
65 歳以上人口		7,841 人	58,299 人	13.4%
	前期高齢者(65-74 歳)	4,428 人	31,472 人	14.1%
	後期高齢者(75 歳-)	3,413 人	26,827 人	12.7%
高齢化率(65 歳以上人口比率)		24.4%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	10.6%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		1,546 人	10,465 人	14.8%
認定率		19.7%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 25.5%と市平均を上回り、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 49.8%と市平均を下回っている。

介助・介護を必要としない高齢者については 71.3%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 16.3%となっている。市平均と比べると、介助・介護の必要度がやや低い地域といえる。

健康状況については、「健康と思う」が 72.0%と、市平均を下回る一方で、「家事ができる」が 78.2%と、市平均を上回り、「通院している」は 76.1%と市平均を下回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 89.7%と、市平均を上回り、「昨年と比べて外出回数が減っている」が 28.7%と、市平均を下回っている。

地域活動については、「町内会・自治会に参加している」が 29.8%と、市平均をやや上回っている。

図表 1-42 高齢者の特徴（第４ブロック：小浜）

調査項目		市全体	第４ブロック（小浜）
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	25.5%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	49.8%
	持ち家率	81.5%	72.9%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	71.3%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	16.3%
	通院の介助の必要性	9.9%	10.2%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	72.0%
	家事のできる割合	77.5%	78.2%
	通院している割合	78.2%	76.1%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	89.7%
	外出を控えている割合	23.5%	21.6%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	28.7%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	29.8%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	4.1%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	18.3%
	趣味を持つ割合	82.2%	80.0%
	いきがいを持つ割合	81.0%	76.4%
サンプル数		N=3,059	N=436

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-43 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況（第4ブロック）

種別		施設名（定員数）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	・オアシス宝塚小規模多機能型居宅介護(25)
	認知症対応型共同生活介護	・ラビアンローズ宝塚(27) ・グループホームたのしい家中山寺(18)
	認知症対応型通所介護	―
	夜間対応型訪問介護	―
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・宝塚まどか園(100) ・宝塚すみれ栄光園(100)
	介護老人保健施設	・ステップハウス宝塚(84)
	介護療養施設	―
	特定施設入居者生活介護	・養護老人ホーム(※)　福寿荘(50) ・結いホーム宝塚(100) ・ケアハウス宝塚(60) ・エイジ・ガーデン宝塚旭町(46)

オ　第５ブロック（長尾）

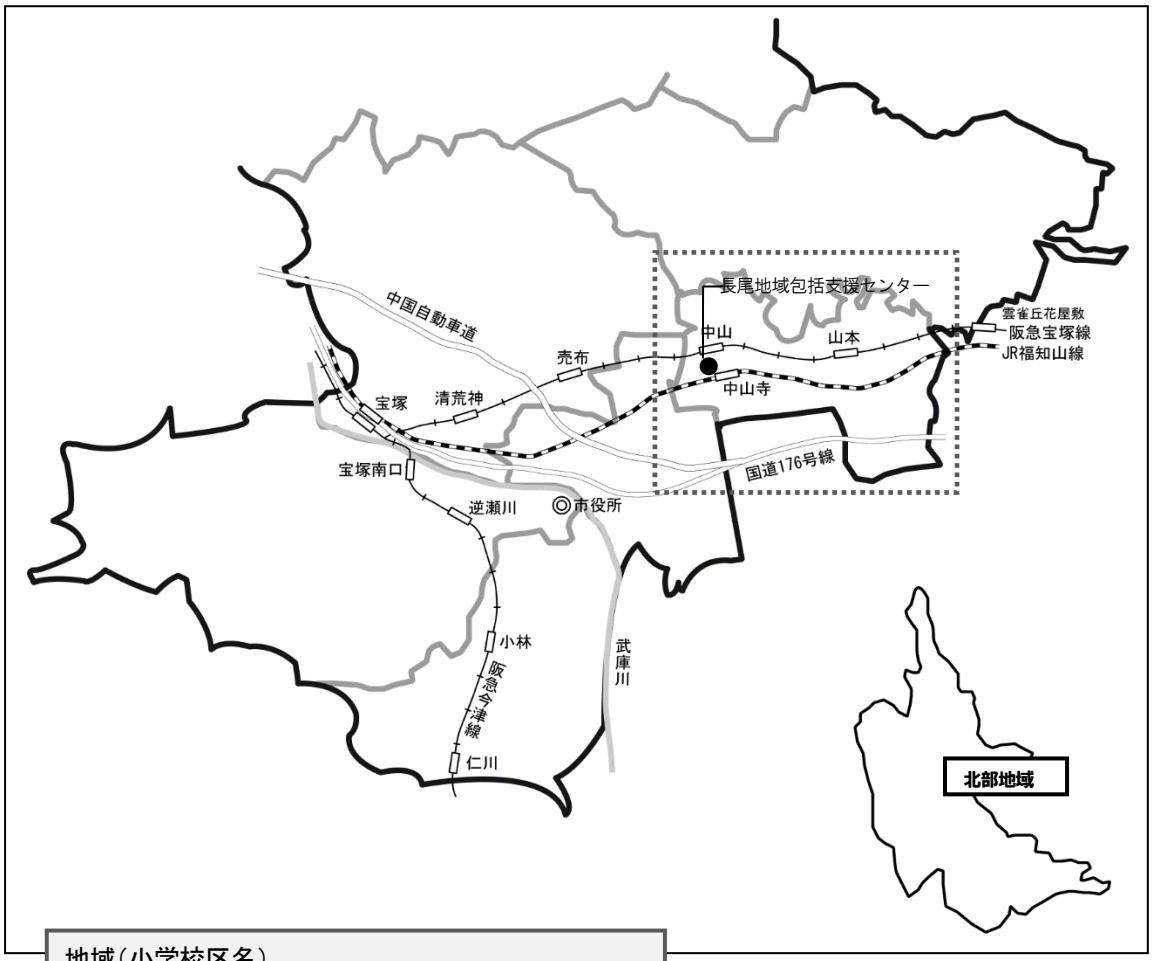
《地域の概要》

第５ブロックは、本市東部のＪＲ宝塚線及び阪急宝塚線沿線の地域であり、南斜面丘陵地、平坦部田園地域に住宅地を形成している。

本市人口の 16.8%、本市高齢者人口の 11.8%を占め、高齢化率は 17.4%と市の平均を 7.5 ポイント下回る最も高齢化率の低い地域である。

また、要介護（要支援）認定者も 16.5%と市平均を 1.5 ポイント下回っており、元気な高齢者が比較的多い地域となっている。

図表 1-44 第5ブロック位置図



地域（小学校区名）
長尾・長尾南・丸橋小学校区

図表 1-45 高齢者の人口等（第5ブロック:小林）

項　目		第5ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		39,316 人	233,980 人	16.8%
65 歳以上人口		6,852 人	58,299 人	11.8%
	前期高齢者(65-74 歳)	3,930 人	31,472 人	12.5%
	後期高齢者(75 歳-)	2,922 人	26,827 人	10.9%
高齢化率(65 歳以上人口比率)		17.4%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	7.4%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		1,131 人	10,465 人	10.8%
認定率		16.5%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 19.9%、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 52.7%となっている。

介助・介護を必要としない高齢者については 69.2%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 16.8%となっている。市平均と比べると、介助・介護の必要度がやや低い地域といえる。

健康状況については、「健康と思う」が 70.8%、「家事ができる」が 77.2%と、いずれも市平均を下回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 88.7%と、市平均を上回る一方で、「外出を控えている」が 25.0%、「昨年と比べて外出回数が減っている」が 30.5%と、いずれも市平均を上回っている。

地域活動については、「町内会・自治会に参加している」が 31.6%、仕事・趣味等については、「収入のある仕事を持つ」が 20.8%と、いずれも市平均を上回っている。

図表 1-46 高齢者の特徴（第５ブロック:長尾）

調査項目		市全体	第５ブロック（長尾）
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	19.9%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	52.7%
	持ち家率	81.5%	79.6%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	69.2%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	16.8%
	通院の介助の必要性	9.9%	7.6%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	70.8%
	家事のできる割合	77.5%	77.2%
	通院している割合	78.2%	78.1%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	88.7%
	外出を控えている割合	23.5%	25.0%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	30.5%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	31.6%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	5.5%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	20.8%
	趣味を持つ割合	82.2%	80.5%
	いきがいを持つ割合	81.0%	80.8%
サンプル数		N=3,059	N=452

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-47 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況（第5ブロック）

種別		施設名（定員数）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	－
	認知症対応型共同生活介護	・はーとふるセゾン宝塚(27) ・アミーユ宝塚山本(27)
	認知症対応型通所介護	－
	夜間対応型訪問介護	－
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・宝塚あいわ苑(60)
	介護老人保健施設	・エスペランサ(140)
	介護療養施設	－
	特定施設入居者生活介護	－

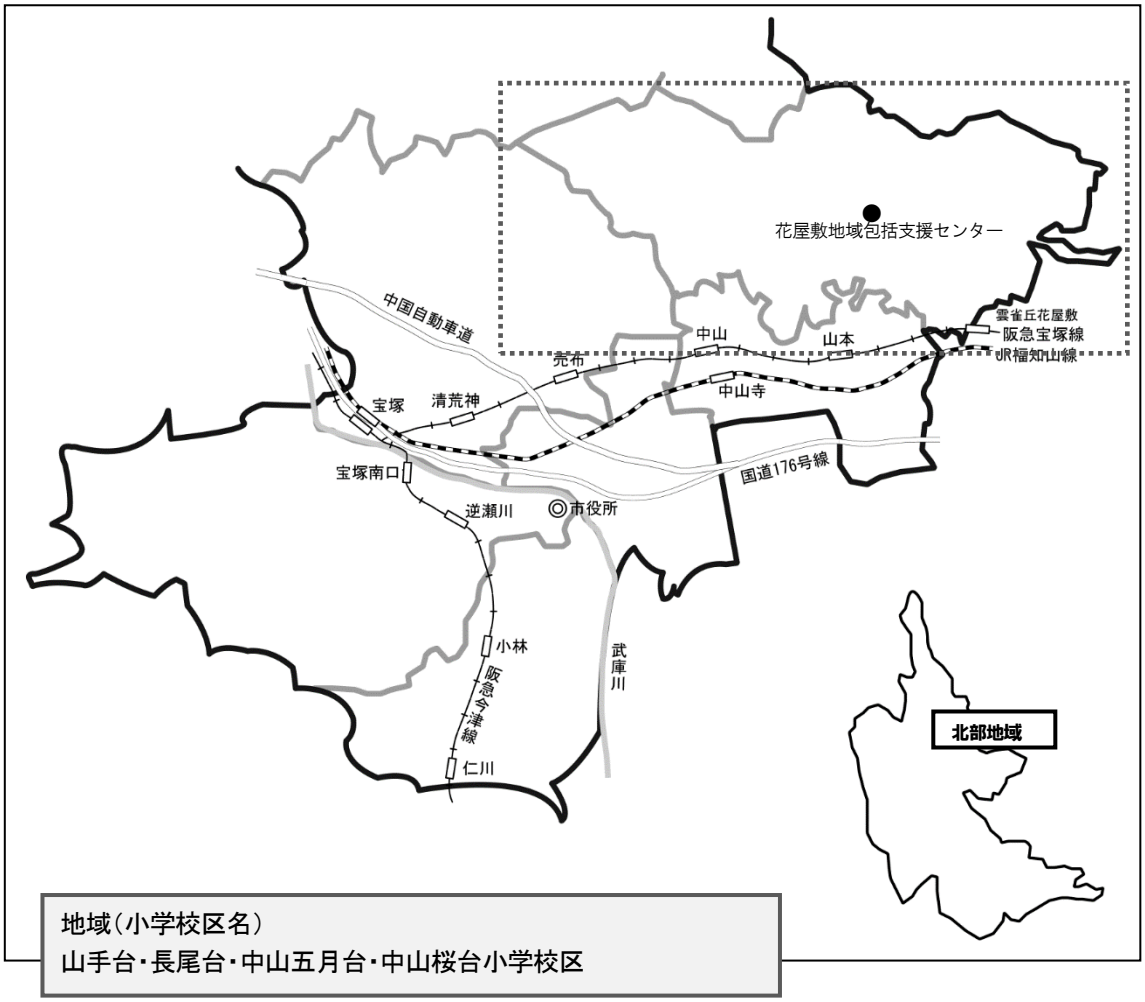
カ　第６ブロック（花屋敷）

《地域の概要》

第６ブロックは、 本市北東部のＪＲ宝塚線及び阪急宝塚線沿線の地域であり、丘陵地に閑静な住宅地を形成している。

本市人口の 12.8%、本市高齢者人口の 14.7%を占め、高齢化率は 28.7%と市の平均を 3.8 ポイント上回っており、16.4%の高齢者が要介護（要支援）の認定を受けている。

図表 1-48 第6ブロック位置図



図表 1-49 高齢者の人口等（第6ブロック:花屋敷）

項　目		第6ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		29,931 人	233,980 人	12.8%
65 歳以上人口		8,582 人	58,299 人	14.7%
	前期高齢者（65-74 歳）	4,813 人	31,472 人	15.3%
	後期高齢者（75 歳-）	3,769 人	26,827 人	14.0%
高齢化率（65 歳以上人口比率）		28.7%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	12.6%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		1,408 人	10,465 人	13.5%
認定率		16.4%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 21.6%、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 51.1%となっている。

介助・介護を必要としない高齢者については 75.8%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 14.9%となっている。市平均と比べると、介助・介護の必要度がやや低い地域といえる。

健康状況については、「健康と思う」が 75.0%、「家事ができる」が 82.0%と、いずれも市平均を上回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 88.1%と、市平均を上回り、「昨年と比べて外出回数が減っている」が 27.3%と、市平均を下回っている。

仕事・趣味等については、「趣味を持つ」が 87.7%、「いきがいを持つ」が 84.3%と、いずれも市平均を上回っている。

図表 1-50 高齢者の特徴（第 6 ブロック:花屋敷）

調査項目		市全体	第６ブロック(花屋敷)
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	21.6%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	51.1%
	持ち家率	81.5%	89.4%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	75.8%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	14.9%
	通院の介助の必要性	9.9%	8.2%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	75.0%
	家事のできる割合	77.5%	82.0%
	通院している割合	78.2%	78.0%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	88.1%
	外出を控えている割合	23.5%	20.3%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	27.3%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	32.0%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	5.9%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	19.1%
	趣味を持つ割合	82.2%	87.7%
	いきがいを持つ割合	81.0%	84.3%
サンプル数		N=3,059	N=472

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-51 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況（第6ブロック）

種別		施設名（定員数）
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	・小規模多機能型ホーム中山ちどり(25)
	認知症対応型共同生活介護	・グループホーム中山ちどり(18)
	認知症対応型通所介護	・サポートハウス中山ちどり(10) ・花屋敷デイサービスセンター(12) ・アクティブライフ中山倶楽部(12)
	夜間対応型訪問介護	・中山ちどりヘルパーステーション
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・花屋敷栄光園(108) ・ケアホーム中山ちどり(100)
	介護老人保健施設	－
	介護療養施設	・雲雀丘クリニック(8)
	特定施設入居者生活介護	・トラストガーデン宝塚(112) ・ケアハウス中山ちどり(60)

キ　第７ブロック（西谷）

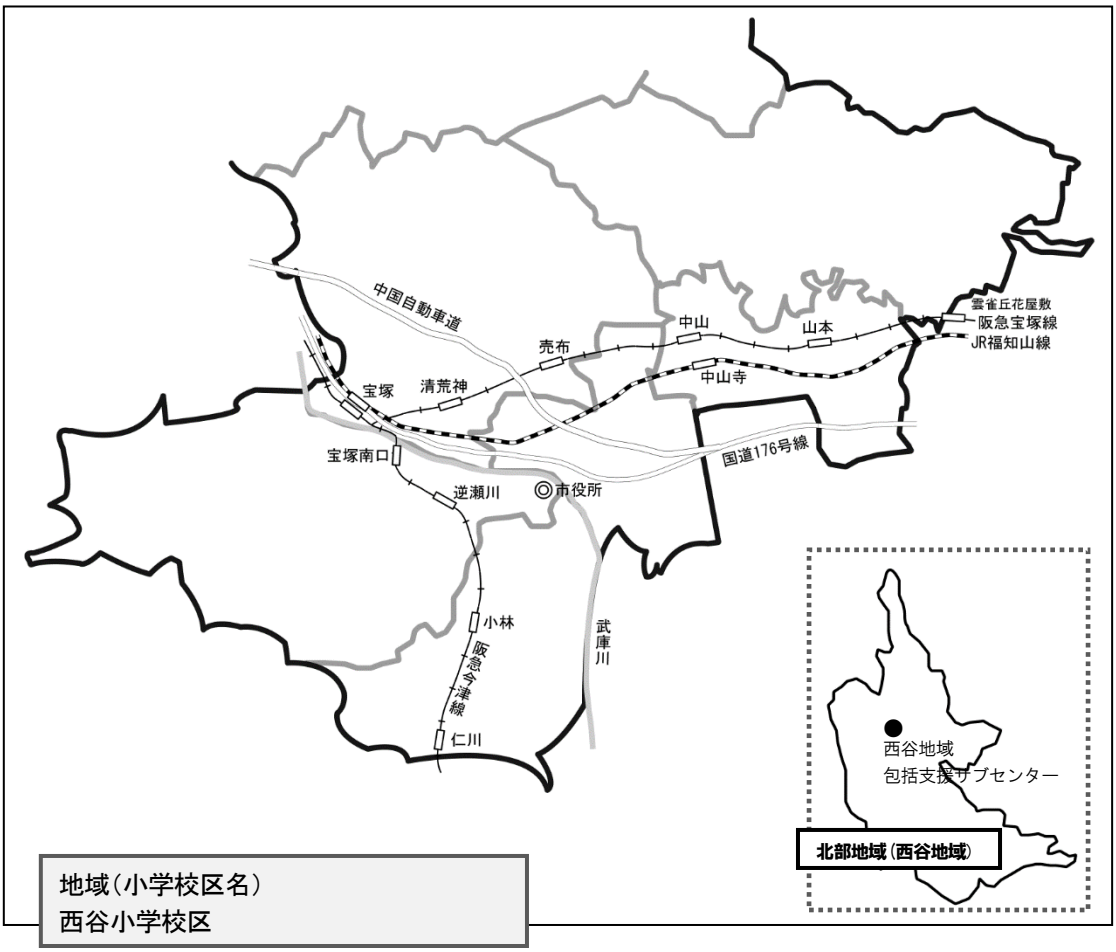
《地域の概要》

本市北部の西谷地域は、市域面積の 70%を占める自然豊かな地域であるとともに、都市近郊の農業地域である。

地域の人口は 2,760 人と本市の 1.2%、高齢者人口は 1.8%であるが、高齢化率は 37.1%と市の平均を 12.2 ポイントも上回る市内で最も高齢化の進んだ地域となっている。

地域の高齢者の 22.0%が要介護（要支援）の認定を受けている。

図表 1-52 第7ブロック位置図



図表 1-53 高齢者の人口等（第7ブロック:小林）

項　目		第7ブロック	宝塚市	市全体に対する比率
人　口		2,760 人	233,980 人	1.2%
65 歳以上人口		1,024 人	58,299 人	1.8%
	前期高齢者（65-74 歳）	524 人	31,472 人	1.7%
	後期高齢者（75 歳-）	500 人	26,827 人	1.9%
高齢化率（65 歳以上人口比率）		37.1%	24.9%	－
	後期高齢者・高齢化率	18.1%	11.5%	－
要介護（要支援）認定者数		225 人	10,465 人	2.2%
認定率		22.0%	18.0%	－

《高齢者の特徴》

家族の構成については、「一人暮らし」が 12.9%、高齢者夫婦世帯等の「２人世帯」が 35.4%といずれも市平均を下回っている。

介助・介護を必要としない高齢者については 63.7%で、一方、介助・介護を必要とする高齢者については 21.8%となっている。市平均と比べると、介助・介護の必要度が高い地域といえる。

健康状況については、「健康と思う」が 70.4%、「家事ができる」が 70.7%と、いずれも市平均を下回っている。

外出の状況については、「週１回以上外出する」が 78.0%と、市平均を下回り、「外出を控えている」が 26.6%と、市平均を上回っている。

地域活動については、「町内会・自治会に参加している」が 55.1%、「見守りが必要な高齢者の支援に参加する」が 14.5%と、いずれも市平均を上回り、地域活動への参加が高い地域であることがうかがわれる。

仕事・趣味等については、「収入のある仕事を持つ」が 29.3%、「いきがいを持つ」が 82.3%と、いずれも市平均を上回っている。

図表 1-54 高齢者の特徴(第７ブロック:西谷)

調査項目		市全体	第７ブロック(西谷)
家族・住居	一人暮らしの割合	22.2%	12.9%
	一人暮らし世帯を除く２人世帯の割合	51.4%	35.4%
	持ち家率	81.5%	86.0%
介助・介護の必要度	介助・介護を必要としない割合	70.5%	63.7%
	介助・介護を必要とする割合	17.0%	21.8%
	通院の介助の必要性	9.9%	15.2%
健康状況	健康と思う割合	73.1%	70.4%
	家事のできる割合	77.5%	70.7%
	通院している割合	78.2%	75.8%
外出の状況	週１回以上外出する割合	86.8%	78.0%
	外出を控えている割合	23.5%	26.6%
	昨年と比べて外出回数が減っている割合	29.8%	28.8%
地域活動	町内会・自治会に参加している割合	29.6%	55.1%
	見守りが必要な高齢者の支援に参加する割合	7.7%	14.5%
仕事・趣味等	収入のある仕事を持つ割合	20.4%	29.3%
	趣味を持つ割合	82.2%	80.4%
	いきがいを持つ割合	81.0%	82.3%
サンプル数		N=3,059	N=372

資料：宝塚市「日常生活圏域ニーズ調査」（平成26年6月実施）

当地域には、下表の地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤が整備されている。

図表 1-55 地域密着型サービス及び施設・居住系サービス基盤の整備状況(第7ブロック)

種別		施設名(定員数)
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	－
	認知症対応型共同生活介護	－
	認知症対応型通所介護	－
	夜間対応型訪問介護	－
施設・居住系サービス	介護老人福祉施設	・宝塚シニアコミュニティ（90）
	介護老人保健施設	・西谷憩いの家（100）
	介護療養施設	－
	特定施設入居者生活介護	－